



# 西南学院大学博物館年報 第14号

ANNUAL REPORT OF SEINAN GAKUIN UNIVERSITY MUSEUM No.14

2021



# 巻 頭 言

西南学院大学博物館は、研究・教育の拠点として、さらには「社会に開かれた大学」を具現化するために、展示活動や本学学生の教育活動、さらには大学の枠を越えた連携活動など、精力的に取り組んでおります。

2021年度も例年と同様、特別展や企画展のほか、実習生企画展や常設展示室テーマ展示等を行っております。特別展では、江戸時代における海外交流の窓口の一つであった長崎をテーマにした「長崎口と和華蘭文化―異文化のさざ波―」、宣教師の到来から再布教までのキリシタン史をテーマにした「宣教師とキリシタン―霊性と聖像のかたちを辿って―」を開催いたしました。企画展では、本学の故関谷定夫名誉教授よりご寄贈いただいた関谷貞夫コレクションのうちユダヤ教祭具（ジュダイカ）をテーマにして紹介した「ジュダイカ・コレクション ユダヤ教の祝祭」、さまざまな資料からキリシタンのイメージの形成過程をたどった「創られたキリシタン像（イメージ）―実録と排耶書のなかのキリシタン―」を開催いたしました。

そのほか、過年度に引き続き、南島原市のご協力のもと、相互貸借特集展示も行っております。

2021年度の活動報告として、本書を刊行いたします。今後とも、引き続き本学博物館へのご指導・ご鞭撻賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2022年 8 月 1 日

西南学院大学博物館  
館長 伊藤 慎二

# 目 次

## 巻頭言

### 2021年度事業報告

#### 1. 展示活動

##### 1.1 西南学院大学博物館主催の展示活動

2021年度特別展Ⅰ「長崎口と和華蘭文化—異文化のさざ波—」実施報告……………	5
2021年度特別展Ⅱ「宣教師とキリシタン—靈性と聖像のかたちを辿って—」実施報告…	8
2021年度企画展Ⅰ「ジュダイカ・コレクション ユダヤ教の祝祭」実施報告……………	13
2021年度企画展Ⅱ	
「創られたキリシタン像（イメージ）—排耶書と実録のなかのキリシタン—」実施報告	17
常設展示室テーマ展示「聖書の写本と印刷本」実施報告……………	21
常設展示室博物館ニュース展示 実施報告……………	22

##### 1.2 共同・連携事業による展示活動

【南島原市】産官学連携サテライト展示・相互貸借特集展示 実施報告……………	23
---------------------------------------	----

#### 2. 教育・研究活動

博物館実習……………	27
2021年度博物館実習成果展……………	29
せいなんワークショップ概要……………	31
博物館刊行物・成果物……………	34
博物館教職員活動記録……………	37

#### 3. 来館者動向

来館者統計……………	40
特別展期間中来館者動向……………	41
来館団体一覧……………	42
博物館講堂使用状況……………	42

#### 4. その他

メディア掲載一覧……………	43
寄贈図書一覧……………	43
博物館規程……………	48
西南学院大学博物館組織……………	59

# 1. 展示活動

## 1.1 西南学院大学博物館主催の展示活動

### 2021年度特別展 I

### 「長崎口と和華蘭文化—異文化のさざ波—」実施報告

会期：2021年9月1日(水)～11月4日(木)

会場：西南学院大学博物館 1階特別展示室

後援：福岡市 福岡市教育委員会

担当：迫田ひなの(学芸研究員) 早田萌(学芸調査員)

#### 事業内容

本展覧会は、「四つの口」と呼ばれる海外交流の窓口が存在していた近世日本において、四つの口の一つである長崎口が果たしていた役割について紹介すると共に、かの地で花開いた日中蘭混交の文化であるところの「和華蘭文化」<sup>わからん</sup>について紹介するものである。本展覧会事業は、博物館内における展示に加えて、これまでの特別展と同様に展覧会図録(研究叢書)の出版やアンケートプレゼントのオリジナルグッズの制作を行い、さらに常設ワークショップとして「出島の出入許可証を書いてみよう!」という企画を実施した。なお、コロナ禍におけるオンラインコンテンツの充実化の一環として、同ワークショップを家庭でも楽しめるようにホームページ上でデータを公開した。



## 開催概要

西彼杵半島と長崎半島の交差点に形成された港町・長崎は、元亀2（1571）年の開港からおよそ300年ものあいだ、日本史上において重要な地位を占めていました。近世にはオランダを窓口とした西洋や中国との唯一の交易の場となり、その中心である出島と唐人屋敷は、文化流入の最前線となりました。異文化のさざ波に洗われた長崎は、人々の営みのなかに異文化を受容する土壌を培い、「和華蘭文化」と呼ばれる独自の文化を花開かせました。

## 展覧会構成

第1章 四つの口と長崎

第2章 長崎における対外交流

第1節 出島

第2節 唐人屋敷

第3章 国際都市・長崎

第1節 異文化との交流

第2節 丸山遊廓



## ■西南学院大学博物館2021年度特別展 I

## 「長崎口と和華蘭文化—異文化のさざ波—」出品目録一覧

番号	資料名	制作年／制作地／制作・出版者／ 素材・形態( )内は原資料	法量 (縦×横cm)	所蔵 ( )内は原資料
<b>第1章 四つの口と長崎</b>				
1	改正日本輿地路程全図	天保4(1833)年／日本／長久保赤水／木版色摺	84.6×139.9	西南学院大学博物館
2	海外異聞	江戸時代後期／日本／紙本墨書、豎帳	24.6×17.4	西南学院大学博物館
3	外国船図	江戸時代後期／日本／紙本着色、卷子装	29.0×145.0 (本紙)	西南学院大学博物館
4	九州九ヶ国之絵図	1783(天明3)年／日本／富島屋文治右衛門／木版墨摺	90.9×65.9	西南学院大学図書館
5	肥前長崎図	江戸時代後期／日本／耕寿堂上梓、長崎梅香堂再板／木版色摺	62.0×87.0	西南学院大学博物館
<b>第2章 長崎における対外交流</b>				
<b>第1節 出島</b>				
6	唐蘭船長崎入津図	明治時代初期頃／日本／歌川貞秀／絹本着色、掛幅装	39.4×49.7 (本紙)	西南学院大学博物館
7	紅毛人プラケット	江戸時代／日本／銅板、高蒔絵、螺鈿	15.2×9.0	西南学院大学博物館
8	紅毛人硯屏	江戸時代後期／日本／漆絵、螺鈿	24.4×16.6	西南学院大学博物館
9	出島蘭館図巻	江戸時代中期／日本／紙本着色、卷子装	35.2×399.5 (本紙)	西南学院大学博物館
10	ワインボトル	18世紀／オランダ／ガラス	直径14.0×高17.5	西南学院大学博物館
11	ジンボトル	19世紀／オランダ／ガラス	高28.4	西南学院大学博物館
<b>第2節 唐人屋敷</b>				
12	唐館部屋の図	1964(昭和39)年／長崎美術同好会(江戸時代後期／日本／大和屋／木版色摺)	47.0×33.2	西南学院大学博物館
13	唐人蛇躍図	1964(昭和39)年／長崎美術同好会(江戸時代後期／日本／文錦堂／木版色摺)	47.0×33.2	西南学院大学博物館
14	長崎土産	1847(弘化4)年／日本／磯野信春／木版墨摺、書冊	23.3×16.0	西南学院大学博物館
15	清俗紀聞	1799(寛政11)年／日本／中川忠英／木版、豎帳、全六冊(十三巻)	24.7×18.0	西南学院大学博物館
16	長崎諏方御社之図	1888(明治21)年／日本／島田豊彦、太和堂／木版色摺	37.7×52.0	西南学院大学博物館
17	南京国寧波湊明船之図	江戸時代後期／日本／紙本着色、軸装	25.8×36.0 (本紙)	西南学院大学博物館
<b>第3章 国際都市・長崎</b>				
<b>第1節 異文化との交流</b>				
18	長崎阿蘭陀商館出入許状	江戸時代／日本／紙本墨書、軸装	16.8×34.3 (本紙)	西南学院大学博物館
19	VOCコイン	1746年／オランダ東インド会社／銅製	直径2.0	西南学院大学博物館
20	VOCコイン	1790年／オランダ東インド会社／銅製	直径2.5	個人蔵
21	珍奇貨幣図譜	江戸時代中期～後期／日本／紙本墨書、小横帳	13.5×19.9	西南学院大学博物館
22	三獣演談	1729(享保14)年／日本／神田白竜子／紙本墨摺、豎帳、全三巻	23.4×16.3	西南学院大学図書館
<b>第2節 丸山遊廓</b>				
23	肥前崎陽玉浦風景之図	1862(文久2)年／日本／歌川貞秀／木版色摺、六枚続	34.6×143.1	西南学院大学博物館
24	長崎円やま	1861(文久元)年／日本／歌川国貞・二代広重／木版色摺、三枚続	35.7×72.3	西南学院大学図書館



## 2021年度特別展II

# 「宣教師とキリシタン—靈性と聖像のかたちを辿って—」

## 実施報告

会期：2021年11月8日(月)～12月20日(月)

会場：第1会場：西南学院大学博物館1階常設展示室・特別展示室

第2会場：西南学院百年館1階企画展示室

後援：福岡市 福岡市教育委員会 福岡市文化芸術振興財団

協力：長崎市 日本二十六聖人記念館 平戸市生月町博物館・島の館

外海潜伏キリシタン文化資料館 南島原市有馬キリシタン遺産記念館

上天草市天草四郎ミュージアム 九州大学附属図書館

西南学院大学図書館 西南学院史資料センター

担当：下園知弥(博物館教員) 宮川由衣(西南学院史資料センター アーキビスト・学芸員)

### 事業内容

本展覧会は、西欧の宣教師が日本にもたらした教育・文化に焦点を当てつつ、長崎・天草に遺されているキリシタン関連資料について紹介するものである。出品資料は、西南学院大学博物館の所蔵資料のみならず、日本二十六聖人記念館をはじめとしてキリシタン関連資料を収蔵する多くの館から借用した。また、本展覧会事業は、西南学院史資料センター協力のもと、展覧会大学博物館(第1会場)と西南学院史資料センター(第2会場)の二会場で開催を行い、展示案や資料解説等についても学院史資料センターアーキビストの助力を得た。また、関連制作物として、例年通り特別展図録(研究叢書)を刊行した。





## 開催概要

「全世界に行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えなさい」(「マルコによる福音書」16:15)。これは復活後に弟子たちの前に現れたイエス・キリストの言葉です。地中海世界で生まれたキリスト教は、古代・中世を経てさまざまな地域へと伝播し、やがて大航海時代を迎えると、ヨーロッパから多くの宣教師たちがアジアを目指して海を渡っていきました。

16世紀、カトリック教会による世界宣教の中心に立ったイエズス会は、日本においてもカトリック神学の教育を実践し、その霊性を伝えました。イエズス会の宣教活動において重要な役割を果たしたのがキリストや聖母子の聖像(聖像画)です。禁教下にキリシタンによって継承された聖像は一様ではなく、各地域に固有の信仰のかたちを豊かにうつしだしています。

本展覧会では、ヨーロッパの宣教師によって日本にもたらされたキリスト教の霊性と聖像のかたちを辿り、禁教の時代を経てこの地に息づく日本のキリスト教信仰を見つめます。

## 展覧会構成

### 第I部 キリスト教の東方伝道

#### 第1章 東方を目指した宣教師たち

#### 第2章 イエズス会—その霊性と教育—

### 第II部 聖像の伝来と変容

#### 第1章 東方伝道と聖像の伝播

#### 第2章 かくれキリシタンの聖像

### 第III部 再布教—パリ外国宣教会の訪れ—



## ■西南学院大学博物館2021年度特別展II

## 「宣教師とキリシタン—靈性と聖像のかたちを辿って—」出品目録一覧

番号	資料名	製作時期/製作地/製作・出版者/素材・形態 [ ]内は複製・復刻	法量 (縦×cm)	所蔵 [ ]内は複製・復刻
<b>第1部 キリスト教の東方伝道</b>				
<b>第1章 東方を目指した宣教師たち</b>				
I-1	アジア図	17世紀前半/アムステルダム(オランダ) /ホドカス・ホンディウス(父) /紙に銅版,手採	45.5×55.0	西南学院大学博物館
I-2	『中国図説』より「東アジア図を持つイエズス会宣教師たち」	1667年/アムステルダム(オランダ) /画者不詳/紙に銅版	37.5×24.5	西南学院大学博物館
I-3	『中国図説』より「インドのマイラプールにおける聖トマススの奇跡の十字架」	1667年/アムステルダム(オランダ) /画者不詳/紙に銅版	37.5×24.5	西南学院大学博物館
I-4	聖フランシスコ・ザビエル像(複製)	江戸時代前期(17世紀初頭) /制作地不詳/画者不詳/紙本着色 [21世紀/複製画]	61.0×48.7 ※額は含まず	神戸市立博物館 [西南学院大学博物館]
I-5	『聖フランシスコ・ザビエル伝』	1793年/ローマ(イタリア) /ジュゼッペ・マッセイ/書冊、紙に活版・銅版	19.8×14.0	西南学院大学博物館
I-6	『イエズス会宣教師たちによる書簡集』第8集	1708年/パリ(フランス) /イエズス会/書冊、紙に活版・銅版	16.5×9.5	個人蔵(上松徹氏寄託)
I-7	『日本教会史』	1737年/ヴェネツィア(イタリア) /ジャン・クラッセ/書冊、紙に活版・銅版、全4巻	1巻:17.0×10.2 2巻:17.0×10.1 3巻:17.0×10.0 4巻:17.0×9.8	西南学院大学博物館
<b>第2章 イエズス会—その靈性と教育—</b>				
I-8	『靈操』	1689年/アントワープ(ベルギー) /イグナティウス・デ・ロヨラ/書冊、紙に活版・銅版	18.3×10.8	西南学院大学博物館
I-9	『キリストに倣いて』	1649年/ブリュッセル(ベルギー) /伝ジャン・ジェルソン/書冊、紙に活版・銅版	12.0×7.5	西南学院大学博物館
I-10	『キリストの生涯』	1499年/ズヴォレ(オランダ)/ザクセンのルドルフ/紙に活版・木版、手彩	27.3×18.9	個人蔵
I-11	『神学大全』第2-2部	1580年/ヴェネツィア(イタリア) /トマス・アキナス/書冊	32.5×23.5	九州大学附属図書館中央図書館
I-12	『トリエント公会議録』	1781年/アウクスブルク(ドイツ) /マテウス・リーゲル/書冊	20.4×13.0	西南学院大学博物館
I-13	『イエズス会学事規定』	1616年/ローマ(イタリア) /イエズス会/書冊、紙に活版・銅版	16.6×11.8	西南学院大学博物館
I-14	『どちな・きりしたん』(復刻)	【1591年版】 1591(天正19)年/加津佐もしくは天草/イエズス会/和装丁、紙に活版 [1978(昭和53)年/日本/雄松堂書店/和装本] 【1600年版】 1600(慶長5)年/長崎/イエズス会/和装丁、紙に活版 [1978(昭和53)年/日本/雄松堂書店/和装本]	【1591年版】 24.2×18.0 【1600年版】 25.6×18.0	【1591年版】 バチカン教皇庁図書館 [西南学院大学図書館] 【1600年版】 カサナテンセ図書館 [西南学院大学図書館]
I-15	『ぎや・ド・ペかどる』(復刻)	【上巻】 1599(慶長4)年/長崎/イエズス会、ルイス・デ・グラナダ原著/和装丁、紙に活版 [2006(平成18)年/日本/雄松堂出版/和装本] 【下巻】 1599(慶長4)年/長崎/イエズス会、ルイス・デ・グラナダ原著/和装丁、紙に活版 [2006(平成18)年/日本/雄松堂出版/洋装本]	【上巻】 26.1×19.7 【下巻】 26.2×19.3	【上巻】 天理大学図書館 [西南学院大学図書館] 【下巻】 イエズス会日本管区 [西南学院大学図書館]
I-16	『サカラメンタ提要』(復刻)	1605(慶長10)年/長崎/イエズス会、ルイス・デ・セルケイラ編/洋装丁、紙に活版、二色刷 [2006(平成18)年/日本/雄松堂出版/書冊]	22.0×16.5	上智大学キリシタン文庫 [西南学院大学図書館]
I-17	『サントスのご作業の内抜書』(復刻)	1591(天正19)年/加津佐/イエズス会/洋装丁 [2006(平成18)年/日本/雄松堂出版/書冊]	16.0×11.0	マルチャーナ国立図書館 [西南学院大学図書館]
I-18	『羅葡日対訳辞書』(復刻)	1595(文禄4)年/天草/イエズス会/洋装丁 [1979(昭和54)年/日本/勉誠社/書冊]	26.4×19.2	オクスフォード大学ボドレアン図書館 [西南学院大学図書館]

番号	資料名	製作時期/製作地/製作・出版者/素材・形態 [ ]内は複製・復刻	法量 (縦×cm)	所蔵 [ ]内は複製・復刻
<b>第II部 聖像の伝来と変容</b>				
<b>第1章 東方伝道と聖像の伝播</b>				
II-1	ヘロニモ・ナダール『福音書についての註解と瞑想』	1595(文禄4)年/アントワープ(ベルギー)/ヘロニモ・ナダール/ヒエロニムス・ヴィーリクスほか刻/紙に銅版	33.5×23.0	西南学院大学博物館
II-2	ロザリオの聖母	19世紀/ヨーロッパ/ヤン・ヴィーリックス/紙に銅版	13.0×9.4	西南学院大学博物館
II-3	マリア十五玄義図	17世紀初頭/日本/作者不詳/紙本着色、額装[2019(令和元)年/複製画]	73.9×60.9	京都大学総合博物館 [西南学院大学博物館]
II-4	『程氏墨苑』(復刻)	1604(万暦32)年/中国/程大約著、丁雲鵬・呉廷羽ほか画、黄燦等刻、滋蘭堂刊/紙に木版[1990(平成2)年/日本/中国書店/冊子]	31.6×21.0	故宮博物院(北京) [西南学院大学博物館]
II-5	《セピリアの聖母》(渡辺千尋氏による復刻版)	1996(平成8)年/日本/渡辺千尋/紙に銅版	50.0×40.0	有馬キリシタン遺産記念館
II-6	救世主像	1597(慶長2)年/日本/銅板に油彩[2021(令和3)年/複製画]	23.0×17.0	東京大学総合図書館 [西南学院大学博物館]
II-7	聖母像「親指のマリア」	17世紀後期/イタリア/銅板に油彩[2021(令和3)年/俵屋工房 高橋亮馬/複製画]	34.3×19.5 ※額は含まず	東京国立博物館(ジョヴァンニ・シドティ旧蔵) [西南学院大学博物館]
II-8	『羅馬人款状』	江戸時代後期/日本/嶋原佐章/縦帳、紙に墨書	26.0×14.2	西南学院大学博物館
<b>第2章 かくれキリシタンの聖像</b>				
II-9	お掛け絵「セピリアの聖母」	江戸時代/生月島/一巻、布	40.5×26.0	平戸市生月町博物館・島の館
II-10	お掛け絵「聖母被昇天」	江戸時代/生月島/一巻、布・紙	42.5×18.2	平戸市生月町博物館・島の館
II-11	お掛け絵「聖母子と二聖人」	江戸時代/生月島/一巻、紙	52.5×30.3	平戸市生月町博物館・島の館
II-12	雪のサンタマリア	1600-14(慶長5~19)年/長崎/画者不詳/紙に顔料 [2019(平成31・令和元)年/複製画]	27.2×21.5	日本二十六聖人記念館
II-13	こんちりさんのりやく	江戸時代後期か/長崎/紙に墨書	13.3×19.6	外海潜伏キリシタン文化資料館
II-14	ドソン(ルソソ)のオラッショ	江戸時代後期か/長崎/紙に墨書	13.6×36.5	長崎市外海歴史民俗資料館
II-15	竹筒	江戸時代か/長崎/竹製	13.5(蓋4.5)×6.5	外海潜伏キリシタン文化資料館
II-16	大黒天像	江戸時代後期か/天草/木製	高20.5×幅14.5×奥行13.5	天草四郎ミュージアム
II-17	大黒天像	江戸時代後期か/天草/木製	箱:高23.5×幅17.8 大黒:高13.5×幅7.0×奥行5.3	天草四郎ミュージアム
II-18	天草土人形	江戸時代後期/天草/陶製	高25.5×幅24.0×奥行11.5	天草四郎ミュージアム
II-19	天草土人形	江戸時代後期/天草/陶製	高28.0×幅17.0×奥行15.0	天草四郎ミュージアム
II-20	銭仏	江戸時代後期/天草/金属製	2.7×2.7	天草四郎ミュージアム
II-21	ハンタマルヤ	江戸時代か/長崎外海下黒崎地区/中国か/金属製	高12.0×幅9.5	外海潜伏キリシタン文化資料館
II-22	マリア観音	17世紀か/長崎浦上村か/徳化窯(中国)か/白磁製	高24.0×幅9.5	西南学院大学博物館
II-23	伝マリア観音	制作年不詳/徳化窯(中国)もしくは日本/白磁製	高22.5×幅9.3	西南学院大学博物館
II-24	マリア観音	制作年不詳/徳化窯(中国)もしくは日本/白磁製	高23.0×幅6.0×奥行6.1	天草四郎ミュージアム
II-25	マリア観音	制作年不詳/中国もしくは日本/白磁製	高7.5×幅6.0×4 奥行.5	天草四郎ミュージアム
II-26	マリア観音	制作年不詳/中国もしくは日本/銅製	高15.0×幅10.0×奥行7.5	天草四郎ミュージアム

番号	資料名	製作時期／製作地／製作・出版者／素材・形態 [ ]内は複製・復刻	法量 (縦×cm)	所蔵 [ ]内は複製・復刻
<b>第III部 再布教—パリ外国宣教会の訪れ—</b>				
III-1	浜商館天主堂ノ図	1870(明治3)年/日本/歌川広重(三代) / 紙に木版、色摺、三枚続	37.0×73.0	西南学院大学博物館
III-2	『仏蘭西國条約並税則』	1859(安政6)年/日本/竖帳、紙に木版	25.8×18.3	西南学院大学博物館
III-3	ベルナル・プティジャン肖像写真	1875年頃/ウィーン(オーストリア) /ヴィクトール・アンゲラー撮影/名刺判古写真	9.4×5.6	西南学院大学博物館
III-4	『日本聖人鮮血遺書』	1887(明治20)年/日本/ヴィリヨン著、加古義一編、村上勘兵衛等出版/書冊	18.8×12.5	西南学院大学図書館
III-5	『聖教初学要理』(復刻)	1868(慶応4)年/浜か/ベルナル・プティジャン/紙に木版、和装本[2012(平成24)年/日本/雄松堂書店/和装本]	25.3×19.1	上智大学キリシタン文庫 [西南学院大学図書館]
III-6	『聖教日課』(復刻)	1868(明治元)年/日本/ベルナル・プティジャン/紙に石版、和装本[2012(平成24)年/日本/雄松堂書店/和装本]	17.6×12.1	上智大学キリシタン文庫 [西南学院大学図書館]
III-7	『羅日辞書』	1870(明治3)年/ローマ(イタリア) /ベルナル・プティジャン/書冊	27.4×19.8	西南学院大学図書館
III-8	『プティジャン司教の司牧書簡』(復刻)	1871(明治3)年/日本/ベルナル・プティジャン/紙に木版[2012(平成24)年/日本/雄松堂書店/軸装]	31.8×119.0	上智大学キリシタン文庫 [西南学院大学図書館]
III-9	『教皇ピウス九世書簡』(復刻)	1872(明治5)年/日本/ベルナル・プティジャン/紙に木版[2012(平成24)年/日本/雄松堂書店/軸装]	31.8×119.0	上智大学キリシタン文庫 [西南学院大学図書館]
III-10	『ろざりよ十五のみすてりよ図解』(復刻)	1871(明治4)年/日本/ベルナル・プティジャン/紙に石版、洋装本[2012(平成24)年/日本/雄松堂書店/書冊]	15.9×12.0	上智大学キリシタン文庫 [西南学院大学図書館]
III-11	『我主イエズスキリストの新約聖書』	1913(大正2)年/鹿児島/エミール・ラゲ/書冊	16.0×12.3	西南学院大学図書館 (波多野文庫)



# 2021年度企画展 I

## 「ユダイカ・コレクション ユダヤ教の祝祭」実施報告

会期：2021年4月17日(土)～8月27日(金)

会場：西南学院大学博物館 1階特別展示室

担当：山尾彩香(学芸研究員)

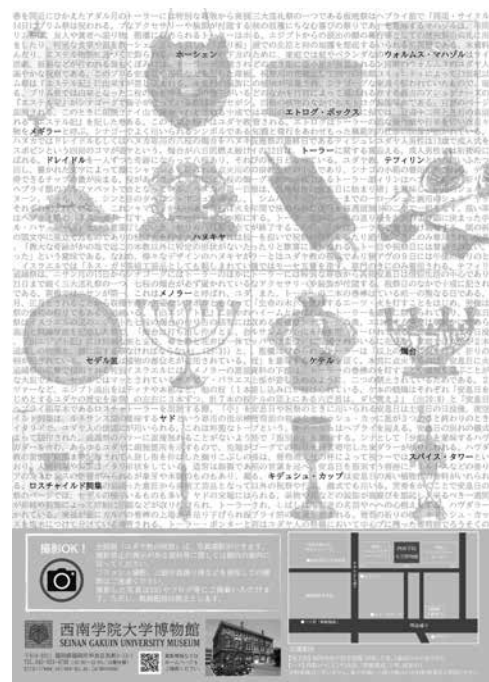
### 事業内容

西南学院大学博物館が所蔵するユダヤ教関連資料は、聖書考古学を専門とする本学の<sup>せきやさだお</sup>関谷定夫名誉教授(1925-2017)が、イスラエルを中心とする各地で研究、蒐集してきたもので、当館では関谷定夫コレクションとして常設展示している。本展では関谷定夫コレクションのなかから、美術工芸品としても優れたユダヤ教の祭具であるユダイカと、新規購入資料を展示した。ユダヤ人の信仰と生活に欠かせない祝祭をテーマに、ユダイカ・コレクションを通してユダヤ教への理解の一助となることを目指すものである。

展示には同様の聖書植物園で生育している聖書植物と関連づけるパネルを設置。廊下には、セデル皿の盛りつけやドレイドル(コマ)遊びを体験できるコーナーを設けた。また、所蔵コレクション展につき、特別展示室内は全面撮影可能とした。

展覧会図録については、これまでの研究叢書の様式から企画展用に装丁、価格を改定した新装版を花乱社より出版した。

なお、本展は4月17日(土)～7月31日(土)を開催予定としていたが、新型コロナウイルス感染症による臨時休館(5月12日～6月20日)の期間を考慮し、会期終了日を延期した。



## 開催概要

ジュダイカとはユダヤ教の祭具等を含む文物の総称であり、優れた美術工芸品を指す言葉でもあります。ユダヤ教の信仰形態や芸術性を示すジュダイカ・コレクションは、世界各地で今日を生きるユダヤ人の価値観や歴史的背景、文化を反映しています。

本展覧会では、ユダヤ人の信仰の源であり生活の営みと深い関りをもつ祝祭を、ジュダイカ・コレクションを通じてご紹介します。

## 展覧会構成

### 第1章 暦

1節 ユダヤの暦

2節 ジュダイカ

### 第2章 祝祭

1節 安息日

2節 新年祭と贖罪日

3節 仮庵祭

4節 律法感謝の祝祭

5節 神殿奉献祭

6節 プリム祭

7節 過越祭





## ■西南学院大学博物館2021年度企画展 I

## 「ジュダイカ・コレクション ユダヤ教の祝祭」出品目録一覧

番号	資料名	年代/製作地/制作/形状/所蔵	法量(縦×横cm)
<b>I 暦</b>			
<b>ユダヤの暦</b>			
1	ウォルムス・マハヅル Worms Mahzor (Facsimail)	1985年/ファドゥーツ(リヒテンシュタイン) / Cyelar establishment /複製本 原資料: 1272年/ドイツ/ヴェラム/ヘブライ大学 図書館	45.0 × 31.0
2	十二宮盤 Hebrew Zodiac	人工大理石	21.4
3	ハメシュ・メギロット Five Megillot	イスラエル	雅歌: 23.0×182.0 ルツ記: 23.0×78.0 哀歌: 23.0×91.0 コヘレトの言葉: 23.0×172.0 エステル記: 23.0×91.0
<b>ジュダイカ</b>			
4	テフィリン Tefillin	革	8.0×5.8
5	テフィリンの聖句 Parchment of Tefillin	羊皮紙	出13章1-10節: 3.0×53.0 出13章11-16節: 3.0×36.1 申6章4-9節: 3.0×21.9 申11章13-21節: 3.0×46.1
6	テフィリン・バッグ Tefillin Bag	布製	25.8×24.4
7	タリート Tallit	布製	58.0×205.0
8	タリート・カタン Tallit Katan	イスラエル/ポリエステル、綿	46.0×101.0
9	キツパー Kippah	布製	①17.0 ②20.0
<b>II 祝祭</b>			
<b>安息日 —シャバット—</b>			
10	シャバット・ランプ Sabbath Lamp	19世紀/ツファト(ガリラヤ) /青銅製	20.0×27.5
11	シャバット・クロス Sabbath Cloth	布製	45.0×53.0
12	燭台 Sabbath Candlesticks	①エルサレム(イスラエル) ②エルサレム(イスラエル) / Karshi Original	①21.4×9.4 ②21.4×8.0
13	キドゥシュ・カップ Kiddush Cup	①マドリッド(スペイン) /銀製 ②2020年/イスラエル/銀メッキ	①7.9×6.9 ②12.0×8.5
14	ハッラー・カバー Challah Cover	2020年/イスラエル/布製	47.0×57.0
15	ハヴダラーセット Havdalah Candle, Kiddush Cup and Spice Tower	2020年/イスラエル/銀メッキ	21.0×24.5
16	スパイス・タワー Spice Tower	①フィラデルフィア(アメリカ) /銀製 ②東欧/銀製 ③ベツァレル美術学校(イスラエル) /木製	①17.5×5.2 ②19.0×5.7 ③19.0×4.8
<b>新年祭と贖罪日 —ローシュ・ハシャナーとヨム・キプラー—</b>			
17	タリートとキツパー Tallit and Kippah	2020年/イスラエル/ Yair Emanuel /木綿製	タリート: 220.0×50.0 キツパー: 17.5
18	ショファール Shofar	動物製	①74.0×16.0×高12.0 ②83.0×15.0×高12.5
<b>仮庵祭 —スコット—</b>			
19	エトログ・ボックス Etrog Container	①鉄製 ②1987年/アメリカ/陶製 ③19世紀/ベツァレル美術学校(イスラエル) /木 製 ④バグダット/銀製	①8.5×5.5 ②9.0×14.0×奥行8.5 ③8.5×17.0×奥行11.0 ④12.7×20.7×奥行10.3

番号	資料名	年代／製作地／制作／形状／所蔵	法量(縦×横cm)
<b>律法感謝の祝祭 —シムハット・トーラー—</b>			
20	ケテル Keter	銀製	35.0×28.5
21	ヤド Yad	①エルサレム(イスラエル) / 銀製 ②イエメン / 銀製 ③バルカン / 銀製、貝	①19.0 ②25.5 ③20.5
22	ホーシェン Hoshen	銀製	29.0×21.5
—	リヴォルノのシナゴークでシムハット・トーラー The Feast of the Rejoicing of the Law at the Synagogue in Leghorn, Italy	原資料：1850年 / イギリス / ソロモン・ハート / 油彩画、キャンバス / ユダヤ博物館	27.5×49.5
23	トーラーとトーラーマントル Torah and Torah Mantle	19世紀 / 羊皮紙	45.2×25.3
24	メノラー Menorah	インド	23.5×28.0
<b>神殿奉献祭 —ハヌカー—</b>			
25	ハヌキヤ Large Hanukkah Lamp	ダマスカス(シリア) / 銀製	153.0×100.0
	ハヌキヤ Hanukkah Lamp	①19世紀 / エルサレム(イスラエル) / 青銅製 ②原資料：14世紀 / フランス / 青銅製 / イスラエル博物館 ③18世紀 / ポーランド / 青銅製	①9.5×12.0×奥行4.5 ②13.5×16.0×奥行4.5 ③25.0×25.0×奥行14.6
26	ドレイドル Dreidel	①銀製 ②銀製 ③陶製	①3.2×3.8 ②9.5×6.5 ③9.8×3.9
<b>プリム祭</b>			
27	メギラー Megillah	①19世紀 / イスタンブール(トルコ) / 羊皮紙 ②20世紀 / マドリード(スペイン) / 羊皮紙、銀製	①36.5 ②40.2
28	グラッガー Grager	①19世紀 / ポーランド / 木製 ②20世紀 / エルサレム(イスラエル) / 木製	①21.0×31.0 ②15.5×22.0
<b>過越祭 —ペサハー—</b>			
29	ロスチャイルド詞集 Rothschild Miscellany (Facsimile)	1988年 / ロンドン(イギリス) / Facsimile Editions / 複製本 原資料：1479年 / ヴェネツィア(イタリア) / ヴェラム / イスラエル博物館	24.2×18.5
30	サラエボ・ハガダー Sarajevo Haggadah(Facsimile)	1985年 / ベオグラード(セルビア) / Prosveta / 複製本 原資料：1350年頃 / バルセロナ(スペイン) / ヴェラム / ボスニア・ヘルツェゴビナ博物館	23.5×17.5
31	キドゥシュ・カップ Kiddush Cup	20世紀 / 銀製	13.7×6.0
32	セデル皿 Passover Plate	19世紀 / イラン / 銀製	33.0
33	マツァー・ホルダー Matzo Cover	布製	38.0

# 2021年度企画展II

## 「創られたキリシタン像(イメージ)—排耶書と実録のなかのキリシタン—」実施報告

会期：2022年3月5日(土)～5月31日(火)

会場：西南学院大学博物館1階特別展示室

担当：鬼東芽依(学芸調査員)

### 事業内容

本展覧会は、当館が所蔵するキリシタン関係史料を中心に構成した。小規模な展示ではあったが、キリシタンの実態を知ることのできない時代の人々が持っていたキリシタンイメージをテーマにした展示は、当館において今までにないものであり、多くの反響をいただいた。本展覧会の中心となった排耶書・キリシタン実録・「キリシタン遺物」は、現代社会が抱える問題にも通じるような興味深い資料であり、その多様な価値を示すことができた。会場内は、一部を除いて写真撮影可能とした。

◆出品目録

品名	所蔵先	展示期間	展示場所
1. 聖書の複製品(福音書)	西南学院大学	3月5日～5月31日	特別展示室
2. 聖書の複製品(旧約書)	西南学院大学	3月5日～5月31日	特別展示室
3. 聖書の複製品(使徒行伝)	西南学院大学	3月5日～5月31日	特別展示室
4. 聖書の複製品(コリント書)	西南学院大学	3月5日～5月31日	特別展示室
5. 聖書の複製品(ガラテヤ書)	西南学院大学	3月5日～5月31日	特別展示室
6. 聖書の複製品(コロソサ書)	西南学院大学	3月5日～5月31日	特別展示室
7. 聖書の複製品(ヘブル書)	西南学院大学	3月5日～5月31日	特別展示室
8. 聖書の複製品(黙示録)	西南学院大学	3月5日～5月31日	特別展示室
9. 聖書の複製品(新約全書)	西南学院大学	3月5日～5月31日	特別展示室
10. 聖書の複製品(旧約全書)	西南学院大学	3月5日～5月31日	特別展示室
11. 聖書の複製品(全書)	西南学院大学	3月5日～5月31日	特別展示室
12. 聖書の複製品(全書)	西南学院大学	3月5日～5月31日	特別展示室
13. 聖書の複製品(全書)	西南学院大学	3月5日～5月31日	特別展示室
14. 聖書の複製品(全書)	西南学院大学	3月5日～5月31日	特別展示室
15. 聖書の複製品(全書)	西南学院大学	3月5日～5月31日	特別展示室
16. 聖書の複製品(全書)	西南学院大学	3月5日～5月31日	特別展示室
17. 聖書の複製品(全書)	西南学院大学	3月5日～5月31日	特別展示室
18. 聖書の複製品(全書)	西南学院大学	3月5日～5月31日	特別展示室
19. 聖書の複製品(全書)	西南学院大学	3月5日～5月31日	特別展示室
20. 聖書の複製品(全書)	西南学院大学	3月5日～5月31日	特別展示室

◆収蔵中のイベント

◆オンラインショップ

2022年 3月5日(土)～5月31日(火)

【会場】西南学院大学博物館1階 特別展示室

入場 無料

第1章 西暦・天保一冊の記録と排耶書の出現

第2章 実録の現とキリシタン実録

第3章 排耶書と排耶書とキリシタン像

第4章 聖書の複製品とキリシタン像

第5章 聖書の複製品とキリシタン像

第6章 聖書の複製品とキリシタン像

第7章 聖書の複製品とキリシタン像

第8章 聖書の複製品とキリシタン像

第9章 聖書の複製品とキリシタン像

第10章 聖書の複製品とキリシタン像

第11章 聖書の複製品とキリシタン像

第12章 聖書の複製品とキリシタン像

第13章 聖書の複製品とキリシタン像

第14章 聖書の複製品とキリシタン像

第15章 聖書の複製品とキリシタン像

第16章 聖書の複製品とキリシタン像

第17章 聖書の複製品とキリシタン像

第18章 聖書の複製品とキリシタン像

第19章 聖書の複製品とキリシタン像

第20章 聖書の複製品とキリシタン像

## 開催概要

江戸時代、幕府の禁教政策にともない「排耶書」とよばれる反キリスト教(反キリシタン)書がつけられた。排耶書は仏僧や儒者の視点からキリスト教の教理に反論をおこなった書物で、教理的内容の強いものであった。しかしながら、キリスト教は一般大衆にも広まっていたため、物語性のある通俗的な排耶書がつくられるようになる。それらの物語は、論理的正確さよりも物語の面白さで読み手を引き付けようとしたため、教理的内容が削られ、虚構を織り交ぜながら変化していった。

享保の出版統制により、キリシタンを題材とする書物は出版されなくなる。しかしキリシタンという題材は、禁忌的内容であるがゆえに人々の興味を引き付けるものであった。キリシタンを題材とした物語は、刊本から写本(「キリシタン実録」)へ形態を変化し読み継がれた。

江戸時代には、一部の地域を除いてキリスト教はほぼ根絶していた。そのため、排耶書とキリシタン実録は、江戸時代の一般大衆がキリシタンについて知ることのできる限られた情報源の一つであった。とくに実録は、「実際にあったこと」という触れ込みで書かれるため、ほとんどの人々はキリシタン実録に書かれている内容を真実だと捉えていた。

明治時代になり、キリスト教の信仰が許されるようになると、禁教政策は過去のものとして扱われた。禁教期に没収された信仰具やキリシタン取締りに使用されていた踏絵は、博物館で資料として展示されるようになる。そして、大衆のキリシタンに対する興味が大きくなると、「キリシタン遺物」とされるものが日本各地でつくられ、出廻った。そのような新たにつくられた「キリシタン遺物」は、明治時代以降の人々がいだいていたキリシタン像を反映するものでもある。

本展覧会では、禁教期につくられた排耶書とキリシタン実録、明治時代以降につくられた「キリシタン遺物」とおして、禁教期から現代までの人々がいだいていたキリシタン像の変化をたどった。

## 展覧会構成

### 第1章 鳥原・天草一揆の記録と排耶書の出現

#### 第1節 記録された鳥原・天草一揆

#### 第2節 排耶書の出現

### 第2章 実録の流行とキリシタン実録群

#### 第1節 排耶書の変化

#### 第2節 実録のおこりと流布

### 第3章 明治以後の排耶書とキリシタンブーム

#### 第1節 廃仏毀釈と排耶への動き

#### 第2節 展覧会とキリシタンブーム

## 関連事業

せいなんこどもワークショップ「考古学体験！ 拓本をとってみよう！」

開催日：2022年5月21日(土)14:00~16:00

会場：西南コミュニティーセンター会議室

対象：小学校3年生以上



## ■西南学院大学博物館2021年度企画展II

### 「創られたキリシタン像(イメージ)—排耶書と実録のなかのキリシタン—」出品目録一覧

番号	資料名(*はパネル展示)	制作年/制作・出版者/素材・形態	大きさ(縦×横cm)	所蔵
<b>第1章 島原・天草一揆の記録と排耶書の出現</b>				
<b>1-1. 記録された島原・天草一揆</b>				
参考	谷忠兵衛書状*	寛永15(1638)年4月15日/谷忠兵衛(差出)/紙本墨書	—	安高啓明研究室(熊本大学)
1	肥前島原記	江戸時代後期/作者不明/紙本墨書・着色、 縦帳	23.5×15.5	西南学院大学博物館
<b>1-2. 排耶書の出現</b>				
参考	破吉利支丹*	寛文2(1662)年/鈴木正三(撰)・堤六左衛門(板)/紙本木版、 縦帳	—	早稲田大学図書館
参考	破提字子*	元和6(1620)年/ハビアン(著)/紙本木版、 小横帳	—	京都大学附属図書館
<b>第2章 実録の流行とキリシタン実録群</b>				
<b>2-1. 排耶書の変化</b>				
参考	吉利支丹物語*	寛永16(1639)年/作者不明/紙本木版、 縦帳	—	国立国会図書館
参考	嶋原記*	宝永元(1704)年/勝村治右工門・須原屋茂兵衛(板)/紙本木版、 縦帳	—	早稲田大学図書館
<b>2-2. 実録のおこりと流布</b>				
2	天草軍記	江戸時代/作者不明/紙本墨書、 縦帳	23.5×17.0	西南学院大学博物館
3	切支丹由来実録	安永4(1775)年/西脇吉蔵(写)/紙本墨書、 縦帳	26.2×19.1	西南学院大学博物館
4	切支丹宗門来朝実記	寛政10(1798)年/沙門賢盛(写)/紙本墨書、 縦帳	24.0×17.0	西南学院大学博物館
5	支丹宗門由来記	江戸時代/作者不明/紙本墨書、 縦帳	23.1×16.6	西南学院大学博物館
6	切支丹根元記	寛政10(1798)年/南呂中院(写)/紙本墨書、 縦帳	22.5×15.5	西南学院大学博物館
<b>第3章 明治以後の排耶書とキリシタンブーム</b>				
<b>3-1. 廃仏毀釈と排耶への動き</b>				
7	破切支丹記巻	天保8(1837)年/坂野利四郎(写)/紙本墨書、 縦帳	25.5×16.5	西南学院大学博物館
8	南蛮寺興廃記	昭和51(1976)年/鶴久二郎(刊)/影印復刻版	25.6×17.8	西南学院大学博物館
参考	仏法護国論*	1856(安政3)年/月性(撰)/紙本木版	—	京都大学附属図書館
<b>3-2. 展覧会とキリシタンブーム</b>				
9	嘉永以前西洋輸入品及参考品目録	明治39(1906)年/東京帝室博物館(編)/ 書冊	22.0×14.8	西南学院大学博物館
10	キリシタン仏像	昭和20(1945)～昭和25(1950)年か/ 作者不明/鉄製	25.3×19.5	西南学院大学博物館
11	十字文様壺	制作年不明/作者不明/白磁染付	口径9.5×高さ 17.8×底径8.1	西南学院大学博物館
12	キリシタン壺	制作年不明/作者不明/白磁染付	口径3.4×高さ 25.4×底径8.0	西南学院大学博物館
13	紙踏絵	明治後期前後か/作者不明/紙本木版・ 墨書	35.0×25.0	西南学院大学博物館



## 常設展示室テーマ展示 「聖書の写本と印刷本」実施報告

会期：2021年3月1日(月)～12月27日(月)

会場：西南学院大学博物館1階常設展示室

担当：下園知弥(博物館教員)、山本恵梨(学芸調査員)、相江なぎさ(同)

常設展示室では、昨年度に引き続き、キリスト教の聖書の歴史をテーマにした展示企画「聖書の写本と印刷本」を実施した。



## 常設展示室博物館ニュース展示 実施報告

### 概要

毎年3回刊行している「西南学院大学博物館ニュース」において、博物館資料の紹介を目的としたシリーズ「所蔵品紹介」の記事がある。本展示は、「所蔵品紹介」で取り上げられた資料を、博物館ニュースの刊行にあわせて常設展示室にて展示をするものである。「所蔵品紹介」の記事は学芸調査員が執筆をしており、本展示は担当学芸調査員の展示事業の実地訓練も兼ねている。

### 2021年度実施報告

2021年度は、ニュース刊行に合わせて計4つのニュース展示を実施し、キリスト教文化から2点、ユダヤ教文化から1点、学院史から1点の資料を展示した。

#### 博物館ニュース第42号展示

「ダンテ『神曲』煉獄篇」

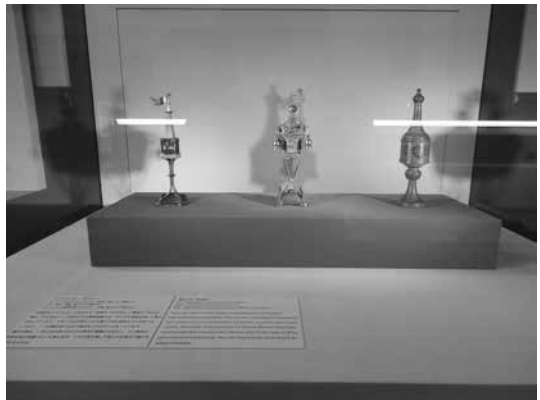
担当者 勝野みずほ(学芸調査員)



#### 博物館ニュース第43号展示①

「スパイス・タワー(香料用容器)」

担当者 山本恵梨(学芸調査員)



#### 博物館ニュース第43号展示②

「大学チャペル建築資材」

担当者 山尾彩香(学芸研究員)

#### 博物館ニュース第44号展示

「ラテン語聖書写本零葉」

担当者 下園知弥(博物館教員)



## 1.2 共同連携事業による展示活動

【南島原市】

### 産官学連携サテライト展示XIX

#### 「禁教から再布教へー日本と中国の歩みー」実施報告

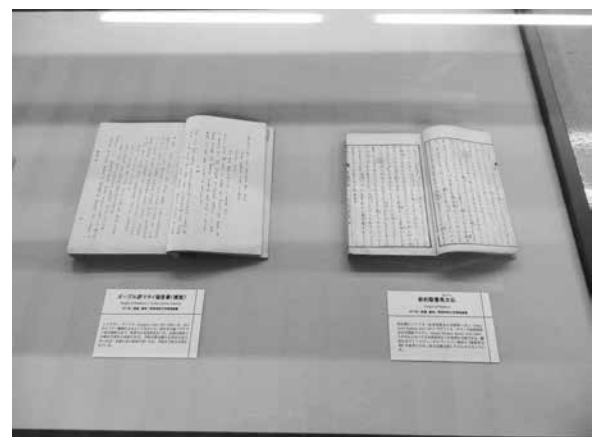
会期：2021年4月30日（金）～10月28日（木）

会場：南島原市原城図書館

主催：西南学院大学博物館

担当：早田萌（学芸調査員）

日本では、1587年の伴天連追放令を境に基督教の信仰・布教は固く禁じられていた。同時期の中国においても同様に基督教は禁じられ、1717年に禁教令が出されるとそれ以降キリシタンは迫害の対象となった。しかし19世紀に入ると、両国ともに再び基督教を信仰することが許されるようになる。本展示では、中国と日本という隣接する二カ国において、基督教の再布教がどのように行われたかを、当時出版された聖書を中心に紐解いていくものである。





# 産官学連携サテライト展示XX

## 「近世長崎の風景—西洋の眼差し、日本の眼差し—」実施報告

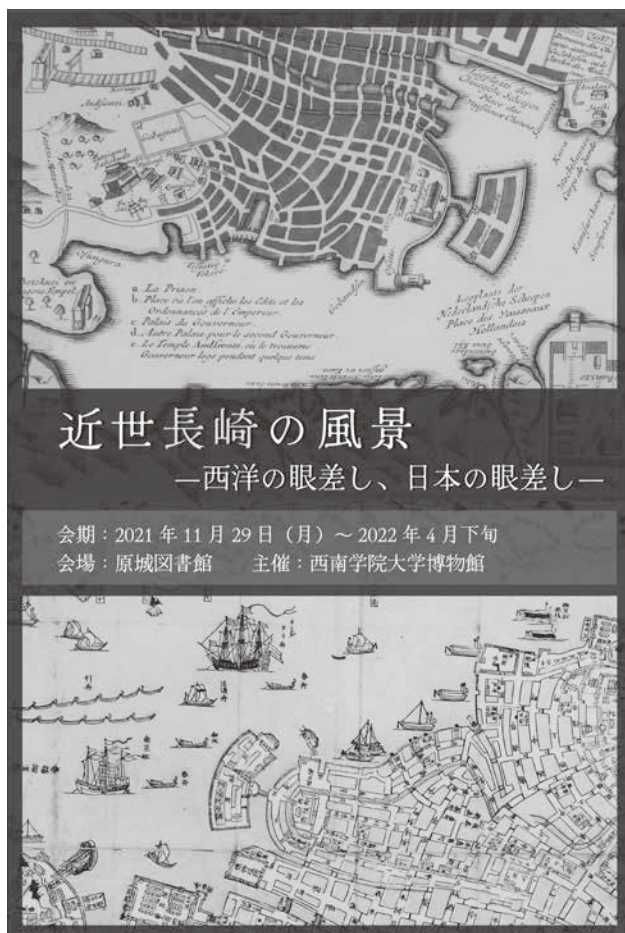
会期：2021年10月29日（金）～2022年4月24日（日）

会場：南島原市原城図書館

主催：西南学院大学博物館

担当：迫田ひなの（学芸研究員）

鎖国体制下にあった近世の日本において、外国に向けて開かれた「四つの口」のひとつであった長崎は、オランダ・中国という二か国との貿易が行われた非常に重要な場所であった。異文化の影響を受けた独特の雰囲気から、長崎の町は土産物として多くの地図や絵図に描かれることとなる。また、出島に滞在した西洋人にとって、長崎の町は最も身近な「日本」の風景であり、彼らによって出版された本の中にも、長崎の町は多く登場する。本展示では、江戸時代の長崎が日本人、そして外国人によってどのように捉えられ、描かれていたのか、その変遷をたどった。



# 令和3年度相互貸借特集展示Ⅰ

## 「輸出入禁止！ はく製・標本展—口之津と海外交流—」

### 実施報告

会期：2021年4月19日(月)～10月26日(火)

会場：西南学院大学博物館1階常設展示室南島原市展示ブース

主催：南島原市教育委員会

船員の町・南島原市口之津町には外国から持ち帰った民芸品があり、口之津歴史民俗資料館で所蔵している。民芸品の中には、現在、ワシントン条約によって国際取引が禁止されている動物のはく製や加工品もある。

本企画展では、口之津と海外とのつながりを紹介するとともに、ワシントン条約で保護される野生動物、絶滅危惧種について取り上げた。

令和3年度 南島原市×西南学院大学博物館 相互貸借展示Ⅰ

# 輸出入禁止！

## はく製・標本展

—口之津と海外交流—



子ワニ

アルマジロ

会期：2021年4月19日(月)～2021年9月上旬

会場：西南学院大学博物館南島原市展示ブース

開館時間：10時～18時(最終入館17時30分)

休館日：毎週日曜日

**入場無料**



# 令和3年度相互貸借特集展示Ⅱ 「島原・天草一揆を記す一硯と矢文」実施報告

会期：2021年10月26日(火)～2022年4月20日(水)

会場：西南学院大学博物館1階常設展示室南島原市展示ブース

主催：南島原市教育委員会

2021年は「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が世界文化遺産に登録されて3周年となる。構成資産の1つである「原城跡」は島原・天草一揆の舞台となった城であり、南島原市にある史跡である。

本企画展では原城跡・本丸から出土した日用品と後世に記された矢文の記録を展示し、原城での島原・天草一揆を紹介した。

令和3年度 南島原市・西南学院大学博物館 相互貸借展示

## 島原・天草一揆を記す 一硯と矢文

三月廿八日 名十二到

城中日、射出ニケル矢文立止ル  
家ノ仁守場ニ落ル者凡ノ如シ

会期：2021年10月26日(火)～2022年4月上旬  
会場：西南学院大学博物館南島原市展示ブース  
開館時間：10時～18時(最終入館17時30分)  
休館日：毎週日曜日

入場  
無料





## 2. 教育・研究活動

### 博物館実習

#### 実習概要

2021年度は実習生1名を受け入れ、2021年10月2日(土)から2022年1月8日(土)まで、計6日間の博物館実習を実施した。初日は、午前に施設案内および基礎学習となるオリエンテーションを行い、午後は企画展(博物館実習成果展)の展示計画および企画書の作成を課題とした。実習2日目から4日目にかけては、企画展準備作業を指導した。実習5日目は企画展の設営を行った。博物館1階常設展示室を会場とし、資料の梱包、搬出、搬入、造作等を学芸員(博物館教員)指導のもと行い、設営を完了させた。実習6日目(最終日)は、企画展の撤収を行った。設営のときと同様に、資料の梱包から搬出入、後片付けを行い、博物館業務における企画展の一連の作業を終了した。

#### 【2021年度博物館実習生】

勝野みずほ(国際文化学部国際文化学科)

#### 【実習風景】



## 西南学院大学博物館博物館実習スケジュール2021

実習担当：下園知弥(博物館教員)

実習日程：10月2日(土)、10月9日(土)、10月16日(土)、10月23日(土)、11月6日(土)、1月8日(土) 計6回

	10月2日(土)		10月9日(土)		10月16日(土)		10月23日(土)	
午前	10:00	大学博物館集合	10:00	百年館3階集合	10:00	百年館3階集合	10:00	百年館3階集合
	10:10	オリエンテーション 企画展考案	10:10	企画展作業①	10:10	企画展作業③	10:10	企画展作業⑤
午後	昼食(12:00 - 13:00)		昼食(12:00 - 13:00)		昼食(12:00 - 13:00)		昼食(12:00 - 13:00)	
	13:00	企画展考案	13:00	進捗報告	13:00	進捗報告	13:00	進捗報告
	16:00	企画会議	13:30	企画展作業②	13:30	企画展作業④		企画展作業⑥
			16:30	進捗報告	16:30	進捗報告	16:30	進捗報告
	17:00	実習日誌作成	17:00	実習日誌作成	17:00	実習日誌作成	17:00	実習日誌作成
	17:30	解散	17:30	解散	17:30	解散	17:30	解散

	11月6日(土)		1月8日(土)	
午前	10:00	百年館3階集合	10:00	大学博物館集合
	10:10	企画展作業⑦	10:10	企画展撤収
午後	昼食(12:00 - 13:00)		昼食(12:00 - 13:00)	
	13:00	企画展設営	13:00	反省会
			14:30	実習日誌作成
			15:00	解散
	17:00	設営完了		
	17:30	実習日誌作成		
18:00	解散			

## 2021年度博物館実習成果展

## 「星に導かれた3人のマギー公現祭の起源を辿って」実施報告

会期：2021年11月8日(月)～2022年1月7日(金)

会場：西南学院大学博物館1階常設展示室

2021年度博物館実習成果展では、西南学院大学博物館が所蔵する資料を実習生が選別し、常設展示室内で企画展示を行った。実習生自ら、テーマを設定し、開催概要、キャプション、解説パネル、ポスター等の作成を行った。クリスマスというコンセプトと展示資料の選択肢は博物館が指定したが、それ以外はすべて実習生の自主的な活動で立案・実施された。



## 【開催概要】

『マタイによる福音書』(2:1-3)によると、イエス・キリストが誕生した際、「ユダヤ人の王」を探しに東方からマギが来訪し、幼子イエスに黄金・乳香・没薬の贈り物を献げた。このエピソードは神の子イエス・キリストがユダヤ人以外の前に姿を表した最初の出来事とされており、カトリック教会ではマギの礼拝を記念して1月6日に「公現祭(エピファニー)」が祝われている。本展示ではマギの礼拝を主題とした資料を4点展示し、公現祭の起源を辿る。

## 【展示資料】

## 1. デューラー『聖母伝』(複製)

複製：2015年／サラマンカ／C. M. Editores／複製本／32.7cm×24.5cm／西南学院大学博物館蔵  
 原本：1511年／ドイツ／アルブレヒト・デューラー／書冊、木版／スペイン国立図書館、バイエルン州立図書館蔵

## 2. 『トリノ＝ミラノ時禱書』(複製)

複製：1994年／ルツェルン／Faksimile Verlag／複製本／29.2cm×21.5cm／西南学院大学博物館蔵  
 原本：1380-90, 1420年／フランス／ヤン・ファン・エイクほか／羊皮紙の彩色／トリノ市立古典美術館蔵

## 3. 《東方三博士の礼拝》

19世紀／ロシア／真鍮／7.3cm×5.0cm／西南学院博物館蔵

4. 《キリストの降誕》

20-21世紀／ギリシア／作者不詳／板に彩色／25.0cm×19.0cm／西南学院大学博物館蔵

【会期中来館者数】 開催日数44日

	来館者数
2021年11月8日	27
11月9日	4
11月10日	26
11月11日	7
11月12日	7
11月13日	25
11月15日	24
11月16日	12
11月17日	10
11月18日	24
11月19日	12
11月20日	10
11月22日	14
11月23日	5
11月24日	9
11月25日	12

	来館者数
11月26日	12
11月27日	45
11月29日	4
11月30日	3
12月1日	6
12月2日	11
12月3日	17
12月4日	14
12月6日	10
12月7日	3
12月8日	11
12月9日	11
12月10日	39
12月11日	5
12月13日	10
12月14日	10

	来館者数
12月15日	12
12月16日	3
12月17日	12
12月18日	39
12月20日	28
12月21日	0
12月22日	0
12月23日	4
12月24日	2
12月27日	5
2022年1月6日	4
1月7日	5
合計	553

## 2021年度 せいなんワークショップ概要

2021年度は新型コロナウイルス感染症の流行をうけ、昨年度に引き続き対面型のワークショップは実施しなかった。2021年度からは、新たな試みとしてYouTubeチャンネルを開設。SNS等での活動を継続しつつ、おうちでせいなんワークショップを中心とした教育コンテンツの拡充をはかった。また、2021年6月からは北海道博物館が取り組む「おうちミュージアム」への参加も表明した。



### ▶せいなんワークショップ

「出島出入許可証」を書いてみよう！

会場：西南学院大学博物館 1階廊下

期間：2021年9月1日(水)～11月4日(木)

特別展「長崎口と和華蘭文化—異文化のさざ波—」の関連事業として開催した常設型のワークショップ。特別展の展示資料「長崎阿蘭陀商館出入許状」を参考に、出島に出入りする際に必要な許可証を模したワークシートを用意。ワークシートには名前と役職名を書き、判を押す。



### ▶おうちでせいなんワークショップ(西南学院大学博物館ホームページ)

#### ① アジアの今と昔 —アジア図—

公開：2021年6月18日(金)

所蔵資料の「アジア図」を題材にしたワークシート。資料の解説シートと資料に関連した問題シートがセットになっている。問題シートは「アジアの今と昔」をテーマに、大航海時代の「アジア図」と現在のアジア地図を見比べて日本がどれかを解答する。





② 出島の出入許可証を書いてみよう！—長崎阿蘭陀商館出入許状—

公開：2021年9月9日(木)

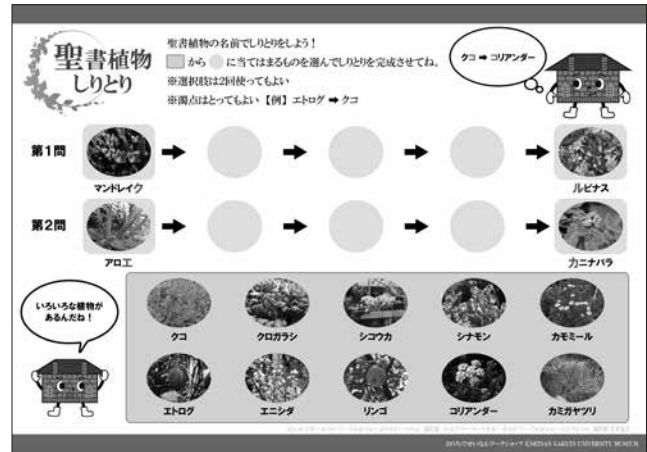
特別展「長崎口と和華蘭文化」のせいなんワークショップ(常設型)の開催に合わせ、おうちでワークショップでも同時にワークシートを公開した。おうちでワークショップ専用の説明シート、資料紹介シート、ワークシートを作成した。特別展終了後も継続して公開している。



③ 聖書植物しりとり

公開：2021年12月2日(木)

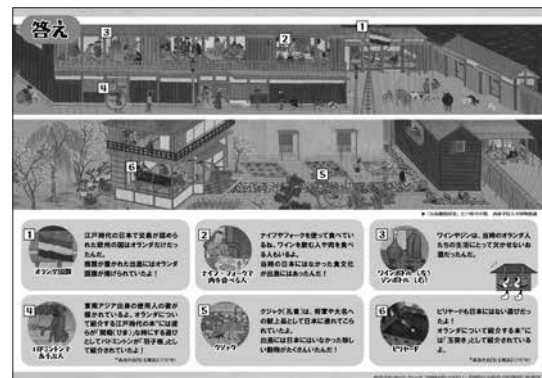
聖書植物の名前をしりとりになるように繋げてゴールを目指すワークシート。聖書植物はすべて写真つき。



④ 出島をのぞいてみよう！—出島蘭館図巻—

公開：2022年2月8日(火)

所蔵資料「出島蘭館図巻」を題材にしたワークシート。江戸時代の出島の様子を描いた「出島蘭館図巻」のなかから、お題の絵図を探す問題シート。解答シートには、出島に暮らしていたオランダ人たちの当時の生活の様子を解説をのせている。





▶YouTube (西南学院大学博物館チャンネル)

① ジョージくんミュージアムガイド「ジュダイカ・コレクション：ユダヤ教の祝祭」編

公開：2021年8月17日(火)

企画展「ジュダイカ・コレクション：ユダヤ教の祝祭」のミュージアムガイド。動画によるミュージアムガイドの本シリーズは、学芸員や展示担当者の監修のもと制作。解説は西南学院大学博物館のマスコットキャラクター「ジョージくん」が担当。



② ジョージくんミュージアムガイド「長崎口と和華蘭文化」編

公開：2021年11月2日(火)

特別展「長崎口と和華蘭文化」のミュージアムガイド。

▶Twitter (@seinan\_museum)

① 聖書植物園ツアー

期間：2021年3月30日(火)～2022年3月8日(火) 不定期  
全9回

西南学院大学聖書植物園の聖書植物の様子を発信。昨年度の臨時休館中、全9回にわたり連載した。臨時休館後も好評により3月末から掲載を再開。不定期ではあるが、臨時休館、通常開館の状況を問わず更新している。



② 企画展「創られたキリシタン像」資料紹介

期間：2022年3月12日(土)～5月28日(土) 毎週土曜 全12回

企画展「創られたキリシタン像 一 排耶書と実録のなかのキリシタン」の展示資料紹介。会期中、毎週土曜日に連載。Instagramでも同内容を同日掲載した。

▶Instagram (@seinan\_museum)

企画展「創られたキリシタン像」資料紹介

期間：2022年3月12日(土)～5月28日(土) 毎週土曜  
全12回

企画展「創られたキリシタン像」の展示資料紹介。会期中、毎週土曜日に連載。Twitterと同内容のものに、ハッシュタグを追加して掲載。



# 博物館刊行物・成果物

## 西南学院大学博物館 研究紀要第10号

A4判  
69頁  
発行日  
2022年3月20日



目次

一論 文一

元寇防塁の石積みの系譜  
—山岳寺院と高麗城郭—  
伊藤 慎二…………… 3

コロナ禍における大学博物館の社会教育のための取り組み  
—おうちでせいなワークショップ—  
山尾 彩香…………… 19

宝永四（一七〇七）年の交奸（密通）事件に見る対馬と朝鮮の外交交渉  
迫田ひなの…………… 31(28)

一資料紹介—

西南学院大学博物館所蔵  
「12世紀ラテン語聖書写本『ローマ信徒への手紙』」  
下園 知弥…………… 59

## 2021年度 西南学院大学 博物館特別展 I

B5判変型  
58頁  
2021年9月1日発刊  
編者 迫田ひなの  
早田萌



目次

ご挨拶  
西南学院大学博物館館長 伊藤慎二…………… 2  
開催概要・凡例…………… 4

第1章 四つの口と長崎 …………… 5

第2章 長崎における対外交流 …………… 13  
第1節 出島…………… 14  
【コラム】オランダ製ワインボトルの流通について  
大野城心のふるさと館運営事業学芸員 鬼束芽依… 22  
第2節 唐人屋敷…………… 24  
【コラム】『清俗紀聞』に見る唐人の食生活  
西南学院大学博物館学芸調査員 早田萌…………… 30

第3章 国際都市・長崎…………… 33  
第1節 異文化との交流…………… 34  
第2節 丸山遊郭…………… 40  
【コラム】丸山遊郭とオランダ人「粧ひ」とフィッセルの子どもたち  
西南学院大学博物館学芸調査員 迫田ひなの…………… 44

出品目録…………… 46

論考

日本を訪れた異国人 好奇心とその記憶  
西南学院大学国際文化学部国際文化学科准教授 尹芝恵…………… 48  
日本とヨーロッパを往復した「煙草入れ」 1830年、シーボルトと其扇の手紙  
西南学院大学国際文化学部国際文化学科教授 宮崎克則…………… 51  
長崎の「キリシタン神社」宗教景観変遷過程の習合宗教施設  
西南学院大学博物館館長 伊藤慎二…………… 54

参考文献一覧…………… 57

2021年度  
西南学院大学  
博物館特別展Ⅱ

B 5判変型  
80頁  
2021年11月8日発刊  
編者 下園知弥  
宮川由衣



目次

ご挨拶  
西南学院大学博物館館長 伊藤慎二…………… 2  
開催概要・凡例…………… 4

第Ⅰ部 キリスト教の東方伝道…………… 5  
第1章 東方を目指した宣教師たち…………… 6  
【コラム】東方伝道の先駆者たち  
西南学院大学 博物館教員 下園知弥 …… 12  
第2章 イエズス会 その霊性と教育 …… 13  
【コラム】イエズス会による南島原における布教教育活動  
南島原市教育委員会世界遺産推進室 学芸員 中山和子 …… 24

第Ⅱ部 聖像の伝来と変容…………… 25  
第1章 東方伝道と聖像の伝播…………… 26  
【コラム】<聖霊降臨>  
(ヘロニモ・ナダル『福音書についての註解と瞑想』より)  
一霊の満ちる時  
西南学院史資料センター アーキビスト・学芸員 宮川由衣 …… 28  
第2章 かくれキリシタンの聖像…………… 37  
【コラム】キリシタンとドソンのオラショ  
大浦天主堂キリシタン博物館 学芸員 島由季 …… 45

第Ⅲ部 再布教 バリ外国宣教会の訪れ…………… 51  
【コラム】大浦天主堂附属神学校の歴史と役割  
大浦天主堂キリシタン博物館 学芸員 内島美奈子 …… 61

論文集  
イエズス会の霊性と教育  
筑波大学名誉教授 桑原直己…………… 64  
天草の潜伏キリシタンの信仰対象の特質と転化  
熊本大学大学院人文社会科学部 准教授 安高啓明 …… 68  
かくれキリシタンの聖像「マリア観音」と「お掛け絵」をめぐって  
西南学院史資料センター アーキビスト・学芸員 宮川由衣 …… 71

主要参考文献…………… 77  
出品目録…………… 78

2021年度  
西南学院大学  
博物館企画展Ⅰ

A 5判変型  
40頁  
2021年4月17日発刊  
編者 山尾彩香



目次

ごあいさつ…………… 2  
開催概要／凡例…………… 4

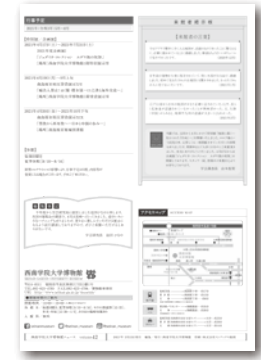
Ⅰ 歴  
ユダヤの暦…………… 6  
ジュダイカ…………… 10

Ⅱ 祝祭  
安息日 シャバット…………… 14  
【聖書植物】ブドウ 17 ミルトス 18  
新年祭と贖罪日 ローシュ・ハシャナーとヨム・キプール…………… 19  
【聖書植物】リンゴ 19  
仮庵祭 スコット…………… 20  
【聖書植物】エトログ 20  
律法感謝の祝祭 シムハット・トーラー…………… 21  
【聖書植物】クラリーセージ 23  
神殿奉献祭 ハヌカ…………… 24  
【TOPIC】ドレイドル 26  
プリム祭…………… 27  
過越祭 ペサハ…………… 29  
【TOPIC】セデル—過越祭の晩餐— 33

用語解説 34／祝祭一覧 36／参考文献 37／資料目録 38

博物館ニュース Volume.42

【1500部発行 発行日2021年5月】



Volume.42  
 所蔵品紹介:【キリスト教文化】「ダンテ『神曲』煉獄篇」  
 資料でみる西南学院の歴史⑥:ランキンチャベルのオルガン  
 展覧会紹介:ジュダイカ・コレクション ユダヤ教の祝祭  
 博物館通信:常設テーマ展示「聖書の写本と印刷本」ほか

博物館ニュース Volume.43

【1500部発行 発行日2021年9月】



Volume 43  
 所蔵品紹介:【関谷定夫コレクション】「スパイス・タワー (香料用容器)」  
 資料でみる西南学院の歴史⑦:新チャペルのガラス  
 展覧会紹介:長崎口と和華蘭文化—異文化のさざ波—  
 博物館通信:テーマ展示「古写真で見る西南学院」ほか

博物館ニュース Volume.44

【1500部発行 発行日2021年12月】



Volume 44  
 所蔵品紹介:【ラテン語聖書写本零葉】  
 資料でみる西南学院の歴史⑧:「西南学院百年史」  
 展覧会紹介:宣教師とキリシタン—霊性と聖像のかたちを辿って—/星に導かれた3人のマギー—公現祭の起源を辿って—  
 博物館通信:赤煉瓦通信特集展示「西南学院アート探訪」ほか



## 2021年度 博物館教職員活動記録

**伊藤慎二** (本学博物館長・国際文化学部教授)

### 【著書】

- ・「長崎の〈キリシタン神社〉：宗教景観変遷過程の習合宗教施設」、『長崎口と和華蘭文化：異文化のさざ波』：54-56頁、花乱社、2021年9月1日
- ・「トカラ・熊本諸島の城郭遺跡」、『首里城を解く：文化財継承のための礎を築く』：43-50頁、勉誠出版、2021年9月30日

### 【論文ほか】

- ・「アジア・太平洋戦争末期の〈松脂〉採取の跡」解説シート、西南学院大学博物館、2021年4月7日（※伊藤慎二・相江なぎさ共著）
- ・「貝塚文化と縄文文化の交流をめぐる論点」、『考古学からみた沖縄と南九州の地域間交流』（第8回鹿児島県考古学会・沖縄考古学会合同学会研究発表会資料集）：23-26頁、鹿児島県考古学会・沖縄考古学会、2022年2月13日
- ・「西光寺納骨塔と肥前療養所の戦争神経症兵士：佐賀県吉野ヶ里町の戦争遺跡」、『国際文化論集』36巻2号：133-151頁、西南学院大学学術研究所、2022年3月16日
- ・「元寇防塁の石積みの系譜：山岳寺院と高麗城郭」、『西南学院大学博物館研究紀要』10号：3-17頁、西南学院大学博物館、2022年3月20日

### 【学会発表】

- ・「貝塚文化と縄文文化の交流をめぐる論点」、第8回鹿児島県考古学会・沖縄考古学会合同学会『考古学からみた沖縄と南九州の地域間交流』、2022年2月13日（※招待）

### 【報道・社会貢献活動等】

- ・法政大学沖縄文化研究所国内研究員2012年4月1日～
- ・福岡市博物館資料収集委員2021年1月1日～2022年12月31日
- ・西南学院大学構内の「アジア・太平洋戦争末期の〈松脂〉採取の跡」解説案内板設置協力、2021年4月7日
- ・「〈ズームアップ〉戦後76年 声なき語り部 耳澄ませ」『読売新聞』2021年8月13日西部版夕刊5頁（※取材協力）
- ・「〈伝える 戦後76年〉（5）西南学院大の松 松ヤニ〈軍用機の燃料に〉」『読売新聞』2021年8月18日西部版朝刊31頁（※取材協力）
- ・「Silent storytellers」『The Japan News』September 26, 2021（※取材協力）

**下園知弥** (本学博物館教員(助教・学芸員))

### 【論文】

- ・「発展する隣人愛：クレルヴォーのベルナルドゥスの神秘神学における「愛の秩序」の一側面」（日本基督教学会編『日本の神学』第60号、2021年9月）
- ・「西南学院大学博物館所蔵「12世紀ラテン語聖書写本『ローマの信徒への手紙』」」（『西南学院大学博物館研究紀要』第10号、西南学院大学博物館、2022年3月）



### 【解説】

- ・「キリスト教と疫病」(中山和子編『祈り—キリスト教・渡海・病—』南島原市教育委員会、2021年7月)
- ・「東方伝道の先駆者たち」(下園知弥・宮川由衣編『宣教師とキリシタン：霊性と聖像のかたちを辿って』花乱社、2021年11月)
- ・「ラテン語聖書写本零葉(所蔵品紹介)」(『西南学院大学博物館ニュース vol.44』西南学院大学博物館、2021年12月)

### 【講座】

- ・大学博物館公開講座「西洋写本の世界」(西南学院大学博物館、2021年4月10日)
- ・西南コミュニティーカレッジ「西洋写本学入門—解読練習編」(西南コミュニティーセンター、2021年6月25日～2021年7月30日)
- ・写本学レクチャー「西洋写本学入門—書体の変遷と解読入門、番外編：中世の写本を見ながら書体の歴史をたどる旅」(スタジオ・ポンテ、2021年10月30日)
- ・西南コミュニティーカレッジ「博物館資料で学ぶキリスト教美術の世界」、第1～2回、4～5回担当(西南コミュニティーセンター、2021年11月19日～2021年12月17日)

山尾彩香(本学博物館学芸研究員・本学非常勤講師)

### 【論文】

- ・「コロナ禍における大学博物館の社会教育のための取り組み—おうちでせいなんワークショップ—」(『西南学院大学博物館研究紀要』第10号、西南学院大学博物館、2022年3月)

### 【寄稿】

- ・「大学博物館での学びを家庭でも」(『大学時報』第400号、日本私立大学連盟、2021年9月)
- ・「百年の赤煉瓦」(『西日本新聞』2021年10月17日朝刊／『西日本新聞me』<https://www.nishinippon.co.jp/item/n/817291/>)

### 【解説】

- ・『ジュダイカ・コレクション：ユダヤ教の祝祭』(西南学院大学博物館、2021年4月)

### 【研修】

- ・令和3年度学芸員研修会「博物館・民俗資料館 de 回想法」(文化庁・「2042年問題」解決に向けた社会資源を活用した「健康寿命」増進プログラム開発とリンクワーカー人材育成事業実行委員会、時津町民俗資料館)
- ・令和3年度博物館リンクワーカー人材養成講座(同上、オンライン)
- ・令和3年度学芸員研修会「美術館 de やさしい日本語」(同上、福岡市美術館)

迫田ひなの(本学博物館学芸研究員)

### 【論文】

- ・「宝永四(一七〇七)年の交奸(密通)事件に見る対馬と朝鮮の外交交渉」(『西南学院大学博物館研究紀要』第10号、西南学院大学博物館、2022年3月)

### 【解説】

- ・「島原・天草一揆と禁教政策」(中山和子編『祈り—キリスト教・渡海・病—』南島原市教育委員会、

2021年7月)

- ・「丸山遊女とオランダ人—『粧ひ』とフィッセルの子どもたち」(迫田ひなの・早田萌編『長崎口と和華蘭文化—異文化のさざ波—』花乱社、2021年9月)

### 【報告】

- ・「館守『毎日記』に見る交奸(密通)事件—宝永4(1707)年の事例をもとに」(地域史料研究会・福岡第51回懇話会、久留米大学 福岡サテライト、2021年11月27日)

**鬼束芽依**(本学博物館学芸調査員・大野城心のふるさと館運営事業学芸員)

### 【解説】

- ・「オランダ製ワインボトルの流通について」(迫田ひなの・早田萌編『長崎口と和華蘭文化—異文化のさざ波—』花乱社、2021年9月)

**早田萌**(本学博物館学芸調査員)

### 【解説】

- ・「日本宣教と活版印刷の伝来」(中山和子編『祈り—キリスト教・渡海・病—』南島原市教育委員会、2021年7月)
- ・「『清俗紀聞』に見る唐人の食生活」(迫田ひなの・早田萌編『長崎口と和華蘭文化—異文化のさざ波—』花乱社、2021年9月)

**勝野みずほ**(本学博物館学芸調査員)

### 【解説】

- ・「ダンテ『神曲』煉獄編(所蔵品紹介)」(『西南学院大学博物館ニュース vol.42』西南学院大学博物館、2021年5月)

**山本恵梨**(本学博物館学芸調査員)

### 【解説】

- ・「スパイス・タワー(香料用容器)(所蔵品紹介)」(『西南学院大学博物館ニュース vol.43』西南学院大学博物館、2021年9月)

# 3. 来館者動向

## 来館者統計

2021年度

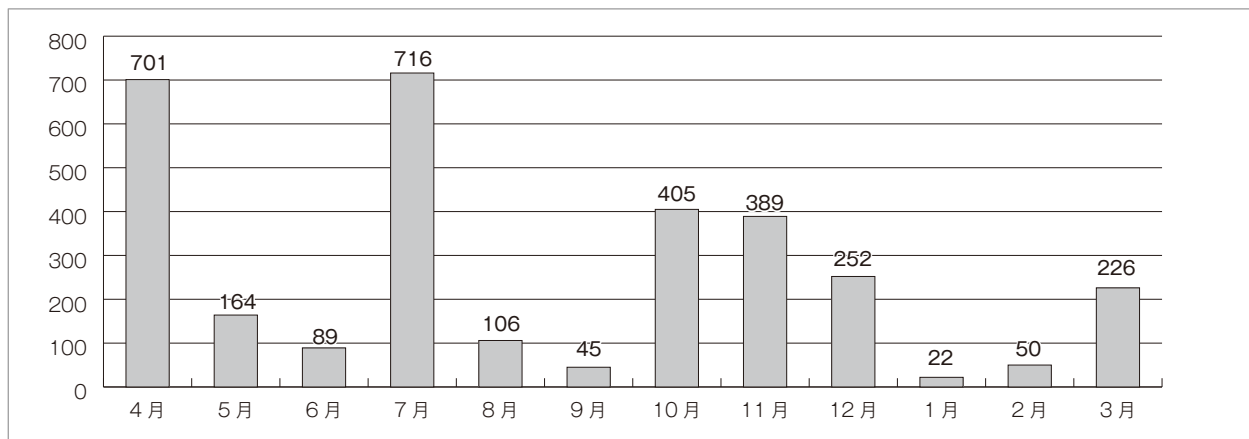
開館以来来館者数 167,481人  
 2021年度来館者数 3,165人  
 2006~2020年年度来館者数 165,538人  
前年度人数 990人 (前年度比 +318%)

### 2021年度来館者統計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
開館日数	24	9	10	27	17	0	26	25	20	6	17	23	204	
学内	教職員	52	5	4	12	1	0	7	20	12	0	0	119	
	本学学生	247	22	42	59	4	5	132	124	51	0	2	709	
	学内小計	299	27	46	71	5	5	139	144	63	0	2	828	
学外	大人(一般)	177	56	36	155	62	38	242	218	148	22	37	1,361	
	他大学生	5	5	3	5	6	1	5	6	29	0	6	85	
	高校生	2	0	3	31	29	0	5	6	5	0	0	86	
	中学生	204	0	0	446	0	0	0	1	1	0	3	659	
	小学生	11	75	1	4	3	1	5	7	3	0	1	113	
	幼児	3	1	0	4	1	0	9	7	3	0	1	33	
学外小計	402	137	43	645	101	40	266	245	189	22	48	199	2,337	
海外居住者	2	0	0	2	1	0	0	0	1	0	0	0	6	
男女比	男性	217	43	25	94	32	17	147	164	90	13	23	112	977
	女性	199	40	46	154	69	23	159	207	117	9	26	1,151	
	不明	285	81	18	468	5	5	99	18	45	0	1	1,037	
合計	701	164	89	716	106	45	405	389	252	22	50	226	3,165	

### 月別来館者数 (単位：人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
701	164	89	716	106	45	405	389	252	22	50	226



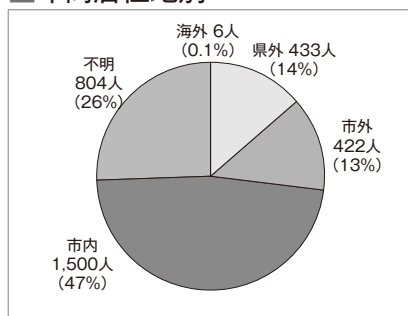
### 月別開館日数 (単位：日)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
24	9	10	27	17	0	26	25	20	6	17	23	204

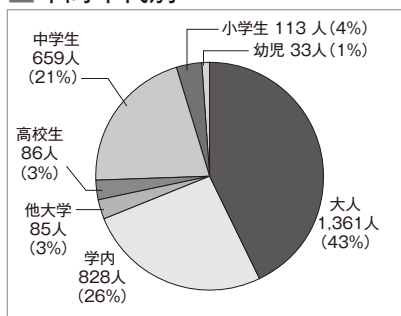
### 月別1日あたり平均来館者数 (単位：人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
29.2	18.2	8.9	26.5	6.2	1.7	15.6	15.6	12.6	3.7	2.9	9.8	12.6

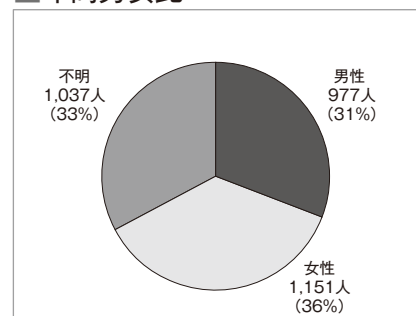
### 年間居住地別



### 年間年代別



### 年間男女比

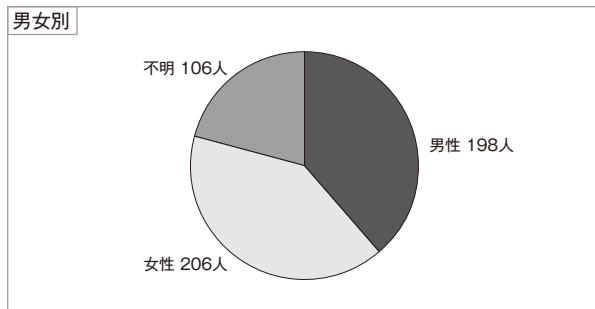
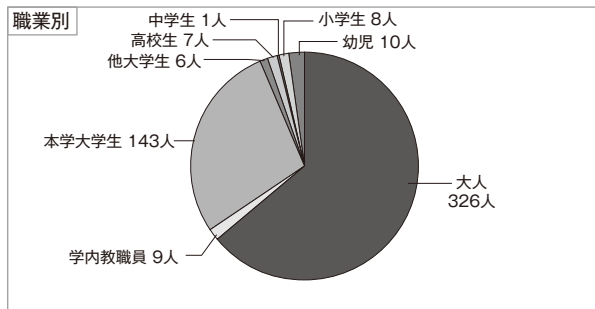
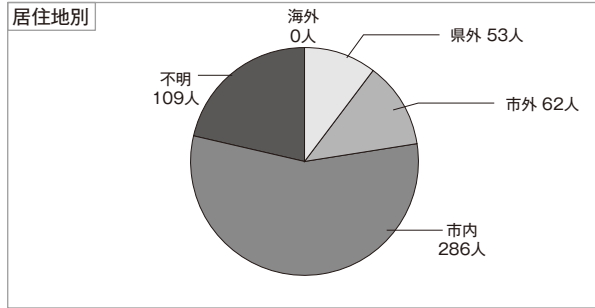


## 特別展期間中来館者動向

### ■特別展I

「長崎口と和華蘭文化—異文化のさざ波—」

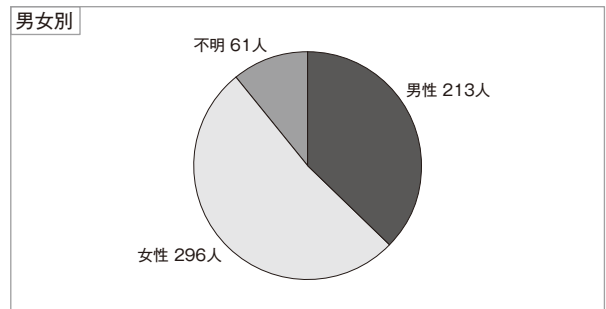
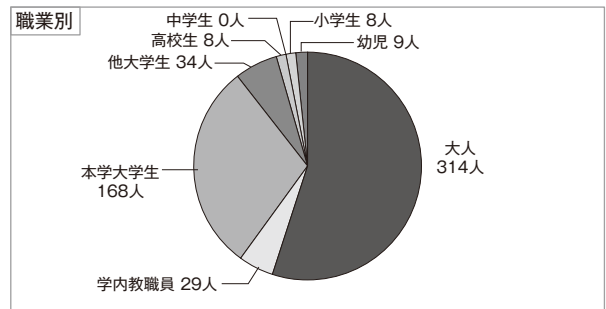
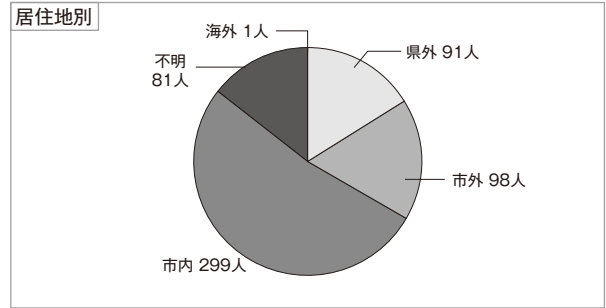
開催期間：2021年9月1日～11月4日  
開催日数：57日 総来館者数：510人



### ■特別展II

「宣教師とキリシタン—靈性と聖像のかたちを辿って—」

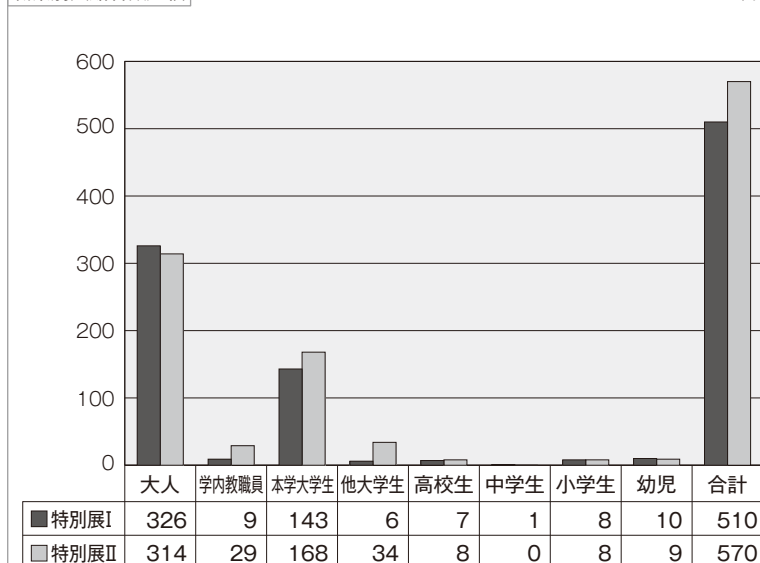
開催期間：2021年11月8日～12月20日  
開催日数：38日 総来館者数：570人



### ■2021年度特別展 入館者数比較

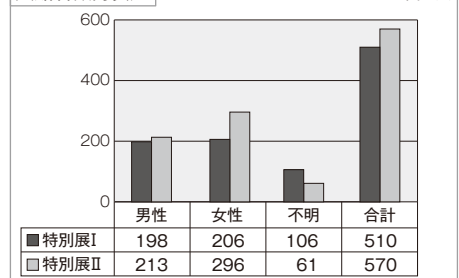
職業別入館者数比較

単位:人

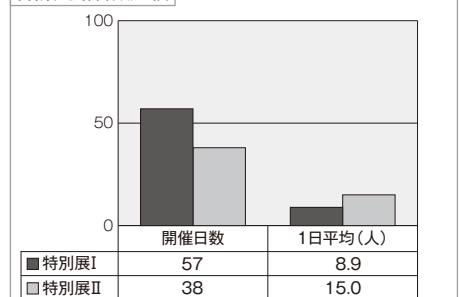


入館者数男女比

単位:人



合計入館者数比較



## 来館団体一覧

期日	見学時間	団体名・使用目的	人数
4月19日	10:40~12:10	博物館の世界	49
4月26日	10:40~12:10	博物館の世界	32
4月30日	10:00~10:30	フルゴスベル福岡教会	16
7月9日	13:00~13:40	西南学院中学校2年生	37
7月9日	14:00~14:40	西南学院中学校2年生	36
7月13日	12:20~13:10	西南学院中学校3年生	38
7月14日	13:20~14:10	西南学院中学校2年生	36
7月15日	9:50~10:40	西南学院中学校3年生	76
7月15日	10:50~11:40	西南学院中学校3年生	38
7月15日	12:20~13:10	西南学院中学校3年生	74
7月16日	9:50~10:40	西南学院中学校2年生	36
7月16日	12:20~13:10	西南学院中学校2年生	36

## 博物館講堂使用状況

期日	使用時間	使用団体(者)	集会名称	人数
4月2日	9:00~15:30	神学部	神学部授業礼拝、開講講演	40
4月18日 7月10日	15:20~18:00	チャペルクワイア	合唱練習	15~30



## 4. その他

## 2021年度メディア掲載一覧

## 学外

掲載日	媒体	タイトル	概要
8月24日	西日本新聞	アイデンティティーのための宗教	企画展「ユダヤ教の祝祭」の紹介
9月20日	大学時報 第400号(令和3年9月号)	大学博物館の学びを家庭でも	教育普及活動「おうちでワークショップ」の紹介
9月18日	読売新聞	近世長崎 中国文化色濃く	特別展「長崎口と華蘭文化」の紹介
10月17日	西日本新聞、西日本新聞me	随筆喫茶「百年の赤煉瓦」	博物館に関するエッセイ
3月4日	NHK札幌放送局	ひるナマ! 北海道「おうちミュージアム」	博物館および教育普及活動「おうちでせいなんミュージアム」の紹介

## 学内

掲載日	媒体	タイトル	概要
10月22日	西南学院広報誌 赤煉瓦通信Vol.9	特集「西南学院と芸術」	博物館所蔵資料の紹介および紹介資料の展示告知

## 寄贈図書一覧

著者・編者	書名	資料区分	発行年	寄贈元
公益財団法人日本博物館協会	博物館研究 Vol.56 No.4 通巻635号	雑誌	2021	公益財団法人日本博物館協会
東北大学総合学術博物館	Bulletin of the Tohoku University Museum No.20 2021	紀要	2021	東北大学総合学術博物館
榎本寿紀、橋本修	びじゅつって、すげえ! 2020-2021 Vol.1 美術館においてよ。	小冊子	2021	公益財団法人分県芸術文化スポーツ振興財団
榎本寿紀	びじゅつって、すげえ! 2020-2021 Vol.2 あれも、これも美術。	小冊子	2021	公益財団法人分県芸術文化スポーツ振興財団
ちくごアートファーム計画実行委員会	ちくごアートファーム計画2020 旅と恋愛	図録	2021	ちくごアートファーム計画実行委員会
全日本博物館学会	博物館学雑誌	紀要	2021	全日本博物館学会
下関市立歴史博物館	下関市立歴史博物館年報	年報	2021	下関市立歴史博物館
学習院大学史料館	ミュージアム・レター第45号	小冊子	2021	学習院大学史料館
東京農業大学「食と農」の博物館	東京農業大学「食と農」の博物館 年報2017・2018・2019	年報	2021	東京農業大学「食と農」の博物館
南島原市教育委員会	南島原市文化財調査報告書 第27集「出口遺跡」	報告書	2021	南島原市教育委員会
壱岐市教育委員会	壱岐市文化財調査報告書 第31集	報告書	2021	壱岐市教育委員会
壱岐市教育委員会	壱岐市文化財調査報告書 第32集	報告書	2021	壱岐市教育委員会
壱岐市教育委員会	古代世界の中の壱岐	図録	2021	壱岐市教育委員会
ノースアジア大学雪国民俗館	雪国民俗第45号	小冊子	2021	ノースアジア大学雪国民俗館
佐賀大学美術館	平成31年度/令和元年度年報	年報	2021	佐賀大学美術館
佐賀大学美術館	美術館で身体を考える	図録	2020	佐賀大学美術館
中部大学民俗資料博物館	年報第9号 2019	年報	2020	中部大学民俗資料博物館
中部大学民俗資料博物館	講演記録2019	報告書	2020	中部大学民俗資料博物館
中部大学民俗資料博物館	先生が愛したカメラたち～伊藤平左工門のカメラコレクション展～	図録	2020	中部大学民俗資料博物館
九州大学総合研究博物館	九州大学総合研究博物館研究報告書第18号	報告書	2021	九州大学総合研究博物館
九州大学総合研究博物館	九大博20年ものがたり	その他	2021	九州大学総合研究博物館
九州大学総合研究博物館	九州大学総合研究博物館ニュース No.35	小冊子	2021	九州大学総合研究博物館
玉川大学教育博物館	玉川大学教育博物館紀要第18号	紀要	2021	玉川大学教育博物館
玉川大学教育博物館	博物館ニュース「SHU」No.56	小冊子	2021	玉川大学教育博物館
熊本大学文書館	熊本大学文書館年度報告2020	報告書	2020	熊本大学文書館
南島原市教育委員会	南島原文化財調査報告書 第二十二集 「寛永治迹(一)」島原・天草一揆関係文献調査報告(一)	報告書	2020	南島原市教育委員会
福岡市総合図書館	福岡市総合図書館 研究紀要 第21号	紀要	2021	福岡市総合図書館
福岡市総合図書館	令和2年度古文書資料目録26	目録	2021	福岡市総合図書館
福岡市美術館	福岡市美術館 研究紀要 第9号	紀要	2021	福岡市美術館
Iwanaga Etsuko	Essays from the Leonard Foujita and the Textiles He Loved Exhibition Catalogue	その他	2021	福岡市美術館
岩永悦子、アン・ル・ディベルデル	藤田嗣治と彼が愛した布たち	図録	2020	福岡市美術館
鹿児島国際大学国際化学部博物館実習施設・鹿児島国際大学ミュージアム	鹿児島国際大学ミュージアム調査研究報告 第18集	報告書	2021	鹿児島国際大学ミュージアム国際化学部博物館実習施設

著者・編者	書名	資料区分	発行年	寄贈元
新潟市歴史博物館	新潟市歴史博物館 博物館ニュース vol.52	小冊子	2021	新潟市歴史博物館
鹿児島大学総合研究博物館	鹿児島大学総合研究博物館研究報告 No.15 大隅大崎 神領10号墳Ⅱ	報告書	2021	鹿児島大学総合研究博物館
公益財団法人日本博物館協会	博物館研究 vol.56 No.5 「令和2年度新館紹介」	雑誌	2021	公益財団法人日本博物館協会
九州保健福祉大学 九州保健福祉大学学芸員養成課程	博物館学年報10	年報	2021	九州保健福祉大学
福岡市美術館	門田コレクション 福岡市美術館所蔵品目録	目録	2021	福岡市美術館
長崎純心大学博物館	純心 博物館だより No.39	小冊子	2021	長崎純心大学博物館
長崎純心大学博物館	塩月悠 作品展	小冊子	2020	長崎純心大学博物館
南島原市教育委員会	南島原市文化財調査報告書 第25集 野中A遺跡—水利施設等保全高度化事業特別型(畑地帯担い手育成型・見岳地区)に伴う発掘調査—	報告書	2021	南島原市教育委員会
南島原市教育委員会	南島原市文化財調査報告書 第26集 石原遺跡—水利施設等保全高度化事業特別型(畑地帯担い手育成型・見岳地区)に伴う発掘調査—	報告書	2021	南島原市教育委員会
関西大学博物館	関西大学博物館彙報 第81号	小冊子	2021	関西大学博物館
関西大学博物館	関西大学博物館紀要 第27号	紀要	2021	関西大学博物館
北九州市立自然史・歴史博物館	北九州市立自然史・歴史博物館 研究報告 B類 歴史 第18号	報告書	2021	北九州市立自然史・歴史博物館
北九州市立自然史・歴史博物館	名刀「博多藤四郎」の輝き 戦国を生き抜いた武士の絆	図録	2021	北九州市立自然史・歴史博物館
北九州市立自然史・歴史博物館	小倉城と城下町	その他	2020	北九州市立自然史・歴史博物館
愛媛大学ミュージアム	愛媛大学ミュージアム開館10周年記念誌	その他	2021	愛媛大学ミュージアム
全日本博物館学会	学会ニュース No.136	小冊子	2021	全日本博物館学会
東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター	東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信 第92号	小冊子	2021	東京大学史料編纂所
福岡市博物館	収蔵品目録35	目録	2020	福岡市博物館
福岡市博物館	収蔵品目録36	目録	2021	福岡市博物館
福岡市博物館	福岡市博物館研究紀要 第29号	紀要	2020	福岡市博物館
福岡市博物館	福岡市博物館研究紀要 第30号	紀要	2021	福岡市博物館
愛知大学東亜同文書院大学記念センター	同文書院記念報 VOL.29	紀要	2020	愛知大学東亜同文書院大学記念センター
桂川町教育委員会	特別史跡王塚古墳保存活用計画	その他	2021	桂川町教育委員会
日本博物館協会	博物館研究 vol.56	雑誌	2021	日本博物館協会
学習院大学史料館	学習院大学 史料館紀要 第27号	紀要	2021	学習院大学史料館
大分県立歴史博物館	大分県立歴史博物館 研究紀要 21	紀要	2021	大分県立歴史博物館
大分県立歴史博物館	大分県立歴史博物館年報 2020	年報	2021	大分県立歴史博物館
日本工業大学工業技術博物館	工業大学博物館ニュース	雑誌	2021	日本工業大学工業技術博物館
早稲田システム開発株式会社	MAPPS press News Letter from MAPPS No.16	小冊子	2021	早稲田システム開発株式会社
東京都江戸東京博物館 都市歴史研究室	東京都江戸東京博物館紀要 第11号	紀要	2021	東京都江戸東京博物館 都市歴史研究室
南島原市教育委員会	南島原市文化財調査報告書 第24集 野中遺跡—県営畑地帯総合整備事業(担い手育成型・原尾地区)に伴う発掘調査—	報告書	2021	南島原市教育委員会
八女市教育委員会	八女市文化財調査報告書 第129集	報告書	2021	八女市教育委員会
八女市教育委員会	八女市文化財調査報告書 第130集	報告書	2021	八女市教育委員会
八女市教育委員会	八女市文化財調査報告書 第131集	報告書	2021	八女市教育委員会
中央公論美術出版	中央公論美術出版 出版図書目録 2021年度版	その他	2021	中央公論美術出版
東北学院大学博物館	OTAKUみゅーじあむ	小冊子	2021	東北学院大学博物館
東北学院大学博物館	KOREMITE	図録	2021	東北学院大学博物館
大分県芸術文化スポーツ振興財団	財団総合情報誌 vol.93	小冊子	2021	大分県芸術文化スポーツ振興財団
大野城心のふるさと館	顔 THE FACE ~それぞれの「顔」が語りかける「過去」「現在」そして「未来」~	図録	2018	大野城心のふるさと館
大野城心のふるさと館	再々発見! 古代山城と水城・大野城	図録	2018	大野城心のふるさと館
大野城心のふるさと館	古墳 王の輝き	図録	2019	大野城心のふるさと館
大野城心のふるさと館	TOY's EXPO —時代を超えて愛されるおもちゃ・ゲームの世界展—	図録	2019	大野城心のふるさと館
大野城心のふるさと館	歴史教科書でみる考古名品	図録	2021	大野城心のふるさと館
大野城心のふるさと館	大野城心のふるさと館年報2019—平成31(2019)年度—	年報	2020	大野城心のふるさと館
日本博物館協会	博物館研究 vol.56	雑誌	2021	日本博物館協会
立命館大学国際平和ミュージアム	立命館大学国際平和ミュージアムだより vol.29-1(通巻84号)	小冊子	2021	立命館大学国際平和ミュージアム
新修宗像市史編集委員会	宗像市史研究 第4号	紀要	2021	新修宗像市史編集委員会
南島原市教育委員会	祈り—キリスト教・渡海・病—	図録	2021	南島原市教育委員会
福岡アジア美術館	あじびニュース 第85号	小冊子	2021	福岡アジア美術館
天草市立天草クリスタン館	天草市クリスタン資料館 年報No.2 2020年度	年報	2021	天草市立天草クリスタン館
北海道大学総合博物館	北海道大学総合博物館ニュース 42号	小冊子	2021	北海道大学総合博物館
長崎歴史文化博物館	れきぶんニュース No.56	小冊子	2021	長崎歴史文化博物館

著者・編者	書名	資料区分	発行年	寄贈元
福岡県立図書館ふくおか資料室	地方紙ふくおか Vol.54	小冊子	2021	福岡県立図書館ふくおか資料室
公益財団法人 徳川記念財団	公益財団法人 徳川記念財団 会報 Vol.37	小冊子	2021	公益財団法人 徳川記念財団
同志社大学歴史資料館	同志社大学歴史資料館館報 第24号	年報	2021	同志社大学歴史資料館
同志社大学歴史資料館	同志社歴史資料館調査研究報告第18集 岩倉忠在地遺跡Ⅲ 同志社中学校・高等学校南体育館建替えに伴う発掘調査報告書	報告書	2021	同志社大学歴史資料館
日本博物館協会	博物館研究 vol.56	雑誌	2021	日本博物館協会
東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター	画像資料解析センター通信 第93号	小冊子	2021	東京大学史料編纂所
日本工業大学工業技術博物館	工業技術博物館ニュース No.110	小冊子	2021	日本工業大学工業技術博物館
全日本博物館学会	学会ニュース No.137	小冊子	2021	全日本博物館学会
神戸大学海事博物館	神戸大学大学院海事科学研究科 海事博物館研究年報 No.48 2020	年報	2020	神戸大学海事博物館
京都工芸繊維大学美術工芸資料館	新デザインへの渴望:京都高校工芸学校とドイツ・オーストリアのアル・ヌーヴォー	図録	2021	京都工芸繊維大学美術工芸資料館
日本博物館協会	博物館研究 vol.56	雑誌	2021	日本博物館協会
学習院大学史料館	学習院大学史料館ミュージアム・レター 第46号	小冊子	2021	学習院大学史料館
佐賀大学美術館	佐賀大学美術館 令和2年度年報	年報	2020	佐賀大学美術館
(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団	総合文化センター 大分県立美術館 総合情報誌 vol.94 2021 AUTUMN	小冊子	2021	(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団
立正大学博物館	立正大学博物館年報 19	年報	2021	立正大学博物館
立正大学博物館	官報「万吉だより」32号	小冊子	2021	立正大学博物館
立正大学博物館	立正の考古学	図録	2021	立正大学博物館
立正大学博物館	吉田 格コレクション 城ノ台北貝塚・子母貝塚考古資料	小冊子	2021	立正大学博物館
シーボルト記念館	鳴滝紀要 第31号	紀要	2021	シーボルト記念館
新潟市歴史博物館	新潟市歴史博物館 博物館ニュース vol.53	小冊子	2021	新潟市歴史博物館
大友一雄、三野行徳編	バチカン図書館所蔵マリオ・マレガ資料—概要と紹介—	その他	2021	国文学研究資料館
大友一雄、三野行徳編	Archival Sources from the Marega Collection in the Vatican Library: Outlines and Selected Documents	その他	2021	国文学研究資料館
Mutsumi Aoki, Ángela Núñez Gaitán	Preservation and Conservation of Japanese Archival Documents: The Marega Collection in the Vatican Library	その他	2019	国文学研究資料館
公益財団法人日本博物館協会	博物館研究 Vol.56 No.10 通巻641号	雑誌	2021	公益財団法人日本博物館協会
長崎歴史文化博物館	長崎れきぶんNEWS NO.057 秋号	小冊子	2021	長崎歴史文化博物館
下関市立歴史博物館	毛利元就没後450年記念特別展 毛利VS大友 一海峡の戦国史 第2章—	図録	2021	下関市立歴史博物館
天草市立天草キリシタン館	令和3年天草キリシタン館歴史トピック展 天正遣欧少年使節と南蛮文化	図録	2021	天草市立天草キリシタン館
「京都の近代化遺産」発信プロジェクト実行委員会	開館40周年記念企画展第2弾 美術の教育／教育の美術	小冊子	2021	京都工芸繊維大学美術工芸資料館
長崎県南島原市教育委員会	南島原市文化財調査報告書 第28集 権現脇遺跡—赤松谷川1号・2号導流堤嵩上げ工事に伴う発掘調査—	報告書	2021	南島原市教育委員会文化財課
苅田町教育委員会	国指定史跡御所山古墳調査概報3—平成28・29・31年度町内遺跡範囲確認調査概報—	報告書	2021	苅田町教育委員会
苅田町教育委員会	令和2年度 苅田町文化財事業年報 まちの歴史7	年報	2021	苅田町教育委員会
岡寺良(九州歴史資料館研究員)	彦山六峰・等覚寺の山岳信仰の研究—豊前等覚寺の山岳霊場・信仰遺跡現地調査報告書—	報告書	2020	苅田町教育委員会
京都大学大学文書館	京都大学大学文書館だより 第41号	小冊子	2021	京都大学大学文書館
千々岩ミゲル墓所発掘調査実行委員会	千々岩ミゲル夫妻伊木力墓所発掘調査(第1次-第3次)報告書 報告編	報告書	2019	伊藤慎二館長
千々岩ミゲル墓所発掘調査実行委員会	千々岩ミゲル夫妻伊木力墓所発掘調査(第1次-第3次)報告書 分析・考察編	報告書	2019	伊藤慎二館長
五里ごり館(城陽市歴史民俗資料館)	五里ごり館通信通信 第24号	小冊子	2021	五里ごり館(城陽市歴史民俗資料館)
玉川大学教育博物館	博物館ニュース SHU No.57	小冊子	2021	玉川大学教育博物館
玉川大学教育博物館	玉川大学教育博物館 館報 第19号 2020年度	年報	2021	玉川大学教育博物館
公益財団法人日本博物館協会	博物館研究 Vol.56 No.11 通巻642号	雑誌	2021	公益財団法人 日本博物館協会
関西大学博物館	祈りの造形	図録	2021	関西学院大学博物館
関西大学博物館	第45回キリスト教美術展	図録	2021	関西学院大学博物館
関西大学博物館	バリ 布の万華鏡—布が伝える美のこころ—	図録	2021	関西学院大学博物館
東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター	東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信 第94号	小冊子	2021	東京大学史料編纂所
九州大学総合研究博物館	九州大学総合博物館ニュース No.36	小冊子	2021	九州大学総合研究博物館
全日本博物館学会	学会ニュース No.138	小冊子	2021	全日本博物館学会
独立行政法人国立文化財機構 東京文化財研究所	2021 独立行政法人 国立文化財機構 東京文化財研究所 概要	小冊子	2021	独立行政法人国立文化財機構 東京文化財研究所
研究支援推進部	TOBUNKEN NEWS no.74, 2021	小冊子	2021	独立行政法人国立文化財機構 東京文化財研究所
立正大学博物館	立正大学博物館館報 万吉だより 第33号	小冊子	2021	立正大学博物館

著者・編者	書名	資料区分	発行年	寄贈元
日本工業大学工業技術博物館	工業技術博物館ニュース No.111	小冊子	2021	日本工業大学工業技術博物館
学習院大学 学芸員課程事務局	学芸員 学習院大学学芸員課程 2021 No.25	小冊子	2021	学習院大学 学芸員課程事務局
東北大学総合学術博物館	東北大学総合学術博物館 ニュースレター Omnividents	小冊子	2021	東北大学総合学術博物館
帝国データバンク史料館	MUSE 2021.9 Vol.39 帝国データバンク史料館だより [ミュージス]	小冊子	2021	帝国データバンク史料館
昭和女子大学三葉博物館	被爆者の足跡 ―被団協関連文書の歴史的研究から―	小冊子	2021	昭和女子大学三葉博物館
公益財団法人 徳川記念財団	公益財団法人 徳川記念財団 会報 vol.37	小冊子	2021	公益財団法人 徳川記念財団
牧民雄	日本で初めて労働組合をつくった男 評伝・城常太郎	その他	2015	牧民雄
駿府博物館	駿府博物館50周年 所蔵名品図録	図録	2021	駿府博物館
Francois Lachaud & Martin Nogueira Ramos	D'un empire, l'autre Premières rencontres entre la France et le Japon au xixe siècle	その他	2021	フランス国立極東学院・京都支部
九州歴史資料館	九歴だより No.54	小冊子	2021	九州歴史資料館
独立行政法人日本芸術文化振興会	「日本博」開催に係る効果検証報告書	報告書	2021	独立行政法人日本芸術文化振興会 日本博事務局
公益財団法人日本博物館協会	博物館研究 Vol. 56 No. 12 通巻643号	雑誌	2021	公益財団法人日本博物館協会
関西大学博物館	阡陵 No. 83	小冊子	2021	関西大学博物館
鹿児島大学総合研究博物館	news letter NO.46・47	小冊子	2021	鹿児島大学総合研究博物館
鹿児島大学総合研究博物館	鹿児島大学総合研究博物館 年報No.19 2019・2020	年報	2021	鹿児島大学総合研究博物館
東京文化財研究所	TOBUNKEN NEWS no.75, 2021	小冊子	2021	東京文化財研究所
大分県立歴史博物館(担当:越智淳平)編	開館40周年記念令和3年度特別展 赤塚古墳と三角縁神獣鏡～宇佐風土記の丘からみた古墳時代～	図録	2021	大分県立歴史博物館
八女市岩戸山歴史文化交流館	八女市岩戸山歴史文化交流館「いわいの郷」年報5―令和2年度―	年報	2021	八女市岩戸山歴史文化交流館
適塾記念会	適塾 No. 54	その他	2021	大阪大学適塾記念センター
福岡アジア美術館	あじびニュース 第86号	小冊子	2021	福岡アジア美術館
天草市立天草コレジヨ館	Amacusaと九州西岸のNAMBAN 展示図録	図録	2021	天草市立天草コレジヨ館
火野葦平資料の会	あしへい通信 第2号	小冊子	2021	火野葦平資料の会
公益財団法人アーティゾン美術館	公益財団法人アーティゾン美術館 研究紀要 第2号	紀要	2021	公益財団法人アーティゾン美術館
小都市教育委員会	小都市文化財調査報告第340集 津古牟田遺跡7	報告書	2021	小都市教育委員会
小都市教育委員会	小都市文化財調査報告第341集 小郡堂の前遺跡4―福岡県小郡市小郡所在遺跡の調査報告―	報告書	2021	小都市教育委員会
小都市教育委員会	小都市文化財調査報告第342集 津古東宮原遺跡7	報告書	2021	小都市教育委員会
小都市教育委員会	小都市文化財調査報告第343集 福童町遺跡15	報告書	2021	小都市教育委員会
北海道大学総合博物館	北海道大学総合博物館ニュース 43号	小冊子	2021	北海道大学総合博物館
(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団	総合文化センター 大分県立美術館 総合情報誌 vol.95 2021-2022 WINTER	小冊子	2021	(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団
公益財団法人日本博物館協会	博物館研究 Vol.57 No.1 通巻644号	雑誌	2022	公益財団法人日本博物館協会
後藤恒・宮田太樹編	没後50年 電力王 松永安左工門の茶	図録	2022	福岡市美術館
安高啓明(著)・石澤一未(英文要旨)	潜伏キリシタンを知る事典	その他	2022	安高啓明
新潟市歴史博物館	帆樫成林	小冊子	2022	新潟市歴史博物館
純心大学博物館	純心博物館だより No.40	小冊子	2022	純心大学博物館
福岡市博物館美術館	令和2年度福岡市美術館活動の記録	年報	2021	福岡市博物館美術館
公益財団法人鍋島報効会	公益財団法人鍋島報効会研究助成 研究報告書 第10号	報告書	2021	公益財団法人鍋島報効会
東京文化財研究所	TOBUNKEN NEWS No.76	小冊子	2021	東京文化財研究所
長崎歴史文化博物館	れきぶんニュース No.058 新春号	小冊子	2022	長崎歴史文化博物館
熊平製作所	抜筆のつづり その八十一	その他	2022	熊平製作所
公益財団法人日本博物館協会	博物館研究 Vol. 57 No. 2 通巻645号	雑誌	2022	公益財団法人日本博物館協会
早稲田システム開発株式会社	MAPPS press News Letter from MAPPS No.17	小冊子	2022	早稲田システム開発株式会社
立正大学ロータスギャラリー特別展示室	立正大学ロータスギャラリー特別展示室開室記念 立正大学 海外仏跡調査展	図録	2021	立正大学ロータスギャラリー特別展示室
東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター	東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信 第95号	小冊子	2022	東京大学史料編纂所
那珂川町馬頭広重美術館	能画家・耕漁 ―揺らめく 煌く 能の世界―	図録	2022	那珂川町馬頭広重美術館
南山大学人類学博物館	南山大学人類学博物館紀要第40号	紀要	2021	南山大学人類学博物館
塩野和夫	浅瀬に行く船にも似て―19世紀アメリカンボードの宣教思想Ⅱ 1851-1880―	その他	2022	塩野和夫先生
新潟市歴史博物館	新潟市歴史博物館研究紀要 第17号	紀要	2022	新潟市歴史博物館
新潟市歴史博物館	みなとまち新潟の記憶新潟町会所文書の世界	その他	2022	新潟市歴史博物館
新潟市歴史博物館	新潟市歴史博物館令和3年度企画展 いがた幕末の絵師―湊を描いた魁庵・文昌と同時代の絵師たち―	図録	2022	新潟市歴史博物館
帝国データバンク史料館	MUSE 2022.3 Vol.40 帝国データバンク史料館だより [ミュージス]	小冊子	2022	帝国データバンク史料館
深澤太郎・大日方一郎	國學院大學文学部考古学実習報告 第58集 長野県安曇野市穂高古墳群 2021年度 E6号墳・F9号墳発掘調査報告書	報告書	2022	國學院大學博物館



著者・編者	書名	資料区分	発行年	寄贈元
國學院大學博物館	國學院大學博物館研究報告 第38輯	報告書	2022	國學院大學博物館
大友一雄、太田尚宏	バチカン図書館所蔵マリオ・マレガ資料—総合的研究—	その他	2022	国文学研究資料館
太宰府市教育委員会	太宰府市の文化財第140集 太宰府の絵師調査報告2 吉嗣家資料【印章編】	報告書	2021	太宰府市教育委員会
久留米市美術館	久留米市美術館年報4	年報	2022	久留米市美術館
久留米市美術館	九州洋画Ⅱ：大地の力	図録	2021	久留米市美術館
東京都江戸東京博物館	モース研究	報告書	2022	東京都江戸東京博物館
大阪市博物館機構	OSAKA MUSEUMS vol.20	小冊子	2022	大阪市博物館機構
日本工業大学工業技術博物館	工業技術博物館ニュース No.112	小冊子	2022	日本工業大学工業技術博物館
同志社大学歴史資料館	同志社大学歴史資料館調査研究報告第19集 相国寺旧境内・公家町遺跡発掘調査報告書—同志社大学致遠館建替え工事に伴う発掘調査—	報告書	2022	同志社大学歴史資料館
長崎県文化観光国際部世界遺産化	世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」研究紀要 第1号	紀要	2022	長崎県世界遺産課
熊本大学文書館五高記念館	熊本大学五高記念館館報 第4号	その他	2022	熊本大学文書館五高記念館
有馬記念館	有馬記念館年報 第7号 令和2(2020)年度	年報	2022	有馬記念館
大阪大谷大学博物館	博物館だより No.132	小冊子	2022	大阪大谷大学博物館
東京都江戸東京博物館	東京都江戸東京博物館紀要 第12号	紀要	2022	東京都江戸東京博物館
長崎市長崎学研究所	長崎市長崎学研究所紀要「長崎学」第6号	紀要	2022	長崎歴史文化博物館 長崎市文化観光部
立正大学博物館	立正大学博物館 館報「万吉だより」第34号	小冊子	2022	立正大学博物館
立正大学博物館	立正大学博物館 第15回企画展図録「瓦塔と瓦堂」	図録	2022	立正大学博物館
熊本大学五高記念館	熊本大学五高記念館叢書第六集「昭和期の第五高等学校 調査報告(四戦争)」	報告書	2022	熊本大学五高記念館
公益財団法人 徳川記念財団	公益財団法人 徳川記念財団 会報 第38号	小冊子	2022	公益財団法人 徳川記念財団



# 博物館規程

## 西南学院大学博物館規程

2005(平成17)年10月5日  
制定

### (趣旨)

第1条 この規程は、西南学院大学学則（1949(昭和24)年4月1日）第5条に基づき、西南学院大学（以下「本学」という。）に設置する博物館に関する必要な事項を定める。

### (名称及び位置)

第2条 名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
西南学院大学博物館(ドージャー記念館)	福岡市早良区西新三丁目13番1号

### (目的)

第3条 西南学院大学博物館（以下「博物館」という。）は、次に掲げる事項を目的とする。

- (1) キリスト教文化、教育文化、地域文化、西南学院史等に関する博物館資料（以下「資料」という。）の収集、整理、保管、閲覧及び展示に関する事項
- (2) 前号の資料の調査研究に関する事項
- (3) 本学学生、教職員等の西南学院関係者並びに一般市民等の教養及び調査研究に資するために必要な事業の実施に関する事項

### (事業)

第4条 博物館は、前条の目的を達成するために次に掲げる事業を行う。

- (1) 実物、標本、模型、文献、図表、写真、スライド、ビデオ、DVD、CD等の収集、整理、保管、閲覧及び展示
- (2) 資料に関する専門的及び技術的な調査研究の実施
- (3) 本学学生、教職員等の学院関係者及び一般市民等への資料に関する必要な解説、助言、指導等
- (4) 資料に関する講演会、講習会、研究会等の主催及びその開催の援助
- (5) 資料に関する案内書、解説書、目録、年報、調査報告書等の作成及び頒布
- (6) 他の博物館等との刊行物及び情報の交換並びに博物館資料の相互貸借の実施
- (7) 本学学生に対する博物館実習の実施
- (8) その他必要と認められる事業

### (職員)

第5条 博物館に、館長その他必要な職員を置く。

第6条 館長は、館務を統括し、博物館を代表する。

2 館長は、本学の専任教授のうちから、博物館長選考委員会（以下「委員会」という。）の推薦に基づき、部長会議の承認を経て、学長がこれを補する。

3 委員会は、次に掲げる委員4名をもって構成する。

- (1) 学長
- (2) 神学部長
- (3) 人間科学部長
- (4) 国際文化学部長

4 館長の任期は、2年とし、再任を妨げない。

第7条 博物館に、博物館教員として学芸員を置く。

2 前項の他に学芸員資格を有する本学教員及び西南学院大学博物館学外研究員に関する内規（2019(令和元)年12月17日）に定める学外研究員を加えることができる。

3 博物館教員は、資料の収集、整理、保管、閲覧、展示及び調査研究その他これに関する事項について、専門的業務を行う。

4 博物館教員は、学芸員課程及び専門分野の授業を担当することができる。

第8条 博物館に社会連携課博物館事務室（以下「博物館事務室」という。）を置き、事務職員、学芸員及び学芸調査員を配置する。

2 事務職員は、博物館運営に係る事項及び庶務の事項を行う。

3 学芸員は、博物館教員の専門的業務及び事務職員の業務を補佐する。

4 学芸調査員は、学芸員業務及び事務職員の業務を補佐する。

### (博物館協議会)

第9条 博物館に、館長の諮問に応えるための機関として西南学院大学博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

第10条 協議会に関する事項は、西南学院大学博物館協議会規則（2005(平成17)年10月5日）に定める。

（博物館の管理運営）

第11条 博物館の利用及び管理運営については、西南学院大学博物館管理運営規則（2005(平成17)年10月5日）（以下「管理運営規則」という。）に定める。

（規格外事項の処理）

第12条 この規程に定めのない事項で博物館に関して必要な事項は、協議会の意見を聴いて、館長が定める。

（所管部署）

第13条 この規程に関する事務は、社会連携課博物館事務室の所管とする。

（規程の改廃）

第14条 この規程の改廃は、管理運営規則第12条に規定する博物館管理運営委員会及び部長会議の議を経て、学長が行う。

附 則

1 この規程は、2006(平成18)年4月1日から施行する。

2 初代館長の任期は、第6条第3項の規定にかかわらず、2006(平成18)年4月1日から2007(平成19)年6月30日までとする。

附 則

この規程は、2014(平成26)年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、2018(平成30)年4月1日から施行する

附 則

この規程は、2019(平成31)年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、2020(令和2)年4月1日から施行する。

## 西南学院大学博物館協議会規則

2005(平成17)年10月5日  
制定

### (趣旨)

第1条 この規則は、西南学院大学博物館規程(2005(平成17)年10月5日)第9条に規定する西南学院大学博物館協議会(以下「協議会」という。)の組織及び運営に関し、必要な事項を定める。

### (所掌事項)

第2条 協議会は、西南学院大学博物館(以下「博物館」という。)の運営に関し、館長の諮問に応えるとともに、博物館の行う博物館資料の収集、整理、保管、閲覧及び展示に関して調査審議し、館長に意見を述べるものとする。

2 前項の博物館資料の収集については、西南学院大学博物館資料収集検討委員会内規(2016(平成28)年3月9日)に定める。

### (委員)

第3条 協議会は、次に掲げる委員6名をもって構成する。

- (1) 学芸員資格をもつ大学教員1名
- (2) 大学教員1名
- (3) 本部・大学事務職員1名
- (4) 学外の博物館関係者3名

第4条 前条に掲げる協議会の委員は、館長が指名する。

第5条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

### (会長及び副会長)

第6条 協議会に、会長及び副会長各1名を置く。

第7条 会長及び副会長は、委員の互選によるものとし、任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

第8条 会長は、会務を総理する。

第9条 副会長は、会長が欠けたとき又は会長に事故があるときは、その職務を代行する。

### (会議の招集)

第10条 協議会の会議は、必要に応じ、会長が招集する。

2 館長が必要と認めたとときは、会長に協議会の招集を求めることができる。

### (議決)

第11条 協議会は、委員の過半数の出席がなければ、成立しない。

2 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは会長の決するところによる。

### (補則)

第12条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関して必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

### (所管部署)

第13条 この規則に関する事務は、社会連携課博物館事務室の所管とする。

### (規則の改廃)

第14条 この規則の改廃は、協議会の議を経て、部長会議が処理する。この場合において、その実施には、学長の承認を得ることとする。

### 附 則

1 この規則は、2006(平成18)年4月1日から施行する。

2 初代委員及び同会長、同副会長の任期は、第5条及び第7条の規定にかかわらず、2006(平成18)年4月1日から2007(平成19)年6月30日までとする。

### 附 則

この規則は、2016(平成28)年4月1日から施行する。

### 附 則

この規則は、2018(平成30)年4月1日から施行する。

### 附 則

この規則は、2019(平成31)年4月1日から施行する。

# 西南学院大学博物館管理運営規則

2005(平成17)年10月5日  
制定

## (趣旨)

第1条 この規則は、西南学院大学博物館規程（2005(平成17)年10月5日）第11条に基づき、西南学院大学博物館（以下「博物館」という。）の利用及び管理運営について定める。

## (休館日)

第2条 博物館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 日曜日
- (2) キリスト降誕祭（12月25日）
- (3) 年末年始の休日（12月28日から1月5日）

2 前項の規定にかかわらず、館長が必要と認めるときは、臨時に休館又は開館することができる。ただし、この場合は、館長は、その都度あらかじめ日時を公示しなければならない。

## (開館時間)

第3条 博物館の開館時間は、午前10時から午後6時までとする。ただし、入館は午後5時30分までとする。

2 前項の規定にかかわらず、館長が必要と認めるときは、当該時間を変更することができる。

## (入館料)

第4条 入館料は、無料とする。

2 前項の規定にかかわらず、特別展示など館長が必要と認めるときは、有料とすることができる。

## (入館の制限)

第5条 館長は、次の各号のいずれかに該当する場合、入館を禁じ、又は退館を命じることができる。

- (1) 他人に迷惑をかけ、展示品、保管物又は施設設備を損傷するおそれがあると認められるとき
- (2) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあると認められるとき
- (3) その他管理上支障があると認められるとき

## (資料の閲覧等)

第6条 館長が必要と認めるときは、利用者の依頼により、その調査研究の用に供するために、博物館の所蔵する資料（以下「資料」という。）の閲覧又は複写を許可することができる。

2 資料の閲覧又は複写をしようとする者は、あらかじめ資料の閲覧又は複写の申請をしなければならない。

第7条 次に該当する資料は、閲覧又は複写を制限することができる。

- (1) 保存に影響を及ぼすおそれがあると認められるもの
- (2) 現に展示中のもの
- (3) 寄託された資料及び借用した資料で、寄託者又は貸出者の承諾を得ていないもの
- (4) その他館長が不相当と認めたもの

## (資料の貸出し)

第8条 館長は、次の各号のいずれかに該当する場合、資料の館外貸出しを行うことができる。

- (1) 博物館その他これに相当する施設が行う展示の用に供するとき
- (2) 学校が授業の用に供する場合で、館長が適当と認めるとき
- (3) その他館長が適当と認めるとき

2 資料の館外貸出しを希望する者は、別に定めるところにより、館長の許可を受けなければならない。

3 資料の館外貸出しの許可を受ける者は、資料借用書を館長に提出しなければならない。

4 資料の館外貸出しの許可を受けた者は、館長の指示するところにより、管理にあたらなければならない。

5 資料の館外貸出しの許可を受けた者は、当該資料を他に転貸してはならない。

6 資料の貸出期間は、館長がその都度定める。

## (損害の賠償)

第9条 見学者等の博物館の利用者又は資料の館外貸出しの許可を受けた者が、故意又は過失など自己の責に帰すべき理由により、施設設備、展示資料又は貸出資料を損傷し、又は滅失したときは、館長の指示を受けてこれを原形に復し、又は館長が定める相当の代価をもって損害を賠償しなければならない。ただし、館長が特にやむを得ない事情があると認めるときは、この限りではない。

## (資料の寄贈)

第10条 博物館は、資料の寄贈を受けることができる。

2 博物館に資料を寄贈しようとする者は、別に定めるところにより、館長にその旨を申出るものとする。

3 館長が寄贈を受けることを決定した場合は、本人にこの旨を通知するものとする。

4 寄贈を受けた資料は、寄贈者の氏名及び寄贈年月日を表記し、永くその篤志を伝える。

## (資料の寄託)

第11条 博物館は、資料の寄託を受けることができる。

2 博物館に資料を寄託しようとする者は、別に定めるところにより、館長にその旨を申出るものとする。

3 館長が寄託を受けることを決定した場合は、寄託者にこの旨を通知するものとする。

4 寄託資料の寄託期間は、その都度館長が寄託者と協議して定める。

- 5 寄託資料は、博物館所蔵の資料と同一の取扱いとする。
- 6 寄託資料は、あらかじめ定められた寄託期間にかかわらず、寄託者の請求又は博物館の都合により、これを返還することがある。
- 7 寄託資料が、天災その他の不可抗力によって損傷又は滅失したとき、博物館は損害賠償の責を負わない。

(博物館管理運営委員会)

第12条 博物館の運営に関する事項を協議する機関として博物館管理運営委員会（以下「委員会」という。）を置く。

第13条 委員会は、委員長1名、委員5名をもって構成する。

第14条 委員長は、館長が兼任するものとする。

第15条 委員は、次に掲げる者とする。

- (1) 博物館学芸員課程主任
- (2) 神学部長
- (3) 大学事務長
- (4) 博物館事務室責任者
- (5) 博物館教員

第16条 委員の任期は、各委員の役職在任期間とする。

第17条 委員長が必要と認めた場合は、委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができるものとする。

第18条 委員会は、委員長がこれを招集して、その議長となる。ただし、委員長が欠けたとき又は委員長に事故があるときは、委員の互選によって議長を決定する。

(議決)

第19条 委員会は、委員の過半数の出席がなければ、成立しない。

- 2 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは委員長の決するところによる。

(補則)

第20条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、館長が別に定める。

(所管部署)

第21条 この規則に関する事務は、社会連携課博物館事務室の所管とする。

(規則の改廃)

第22条 この規則の改廃は、委員会及び部長会議の議を経て、学長が行う。

附 則

この規則は、2006(平成18)年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、2014(平成26)年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、2018(平成30)年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、2019(平成31)年4月1日から施行する。



## 西南学院大学博物館(ドージャー記念館)講堂使用内規

2006(平成18)年6月14日  
制定

## (趣旨)

第1条 この内規は、西南学院大学博物館管理運営規則(2005(平成17)年10月5日)第20条の規定に基づき、西南学院大学博物館(ドージャー記念館)講堂(以下「講堂」という。)の使用に関する事項を定める。

## (目的)

第2条 講堂は、西南学院大学博物館規程(2005(平成17)年10月5日)第3条の目的を達成するための活動の場として供することを目的とする。

## (使用許可要件)

第3条 西南学院大学博物館長(以下「館長」という。)は、次に掲げる事項に該当する場合、講堂の使用を許可する。ただし、本学の建学の精神に反する目的及び内容である場合は、この限りでない。

- (1) 大学が主催する行事(授業及びチャペル・アワーを含む)
- (2) 大学学生団体が主催し、かつ、学生部長が認めた行事
- (3) 大学教職員が主催する行事
- (4) 大学同窓会が主催する行事
- (5) その他、特に館長が許可する行事

## (使用時間)

第4条 講堂の使用時間は、午前10時から午後6時までとする。ただし、館長が必要と認めたときは、この限りでない。

## (休館日)

第5条 次に掲げる休館日は、講堂を使用できないものとする。ただし、館長が必要と認めたときは、この限りでない。

- (1) 日曜日
- (2) キリスト降誕祭(12月25日)
- (3) 年末年始の休日(12月28日から1月5日まで)
- (4) 館長が、建物又は備品の修理その他の理由により必要と認めた日

## (使用願の提出)

第6条 講堂の使用を希望する者又は団体(以下「使用者」という。)は、所定の使用願を社会連携課博物館事務室(以下「事務室」という。)に提出し、館長の許可を受けなければならない。この場合において、使用者が、時間外又は休館日の使用を希望するときも同様とする。

- 2 前項の使用願の申込み期限は、使用予定日の1か月前とする。

## (講堂使用料)

第7条 講堂の使用料は、無料とする。ただし、第3条第3号及び第4号に該当し、かつ、入場料を徴収する行事又は第3条第5号に該当する行事は、有料を原則とする。

- 2 前項ただし書に該当する場合の使用料金及び時間外管理経費は、次に掲げるとおりとする。

使用料金(税込み)	時間外管理経費(税込み)
1時間当たり5,000円	5時間以内 10,000円
	5時間超 20,000円

## (講堂内の禁止行為)

第8条 講堂内においては、次に掲げる行為を禁止する。

- (1) 火気の使用
- (2) 許可なく物品の販売を行うこと
- (3) 許可なく金品の寄付募集を行うこと
- (4) 許可なく展示、掲示及び広告又は宣伝を行うこと
- (5) 飲食及び飲酒
- (6) 喫煙
- (7) 凶器及び危険物等の搬入
- (8) 喧騒にわたる行為
- (9) スパイクシューズ及び下駄ばき
- (10) 許可なく備品(長椅子等)を移動すること

## (臨時設備及び物品の搬入、搬出)

第9条 使用者が、その活動のために臨時設備を施し、又は講堂常備品以外の物品を搬入しようとするときは、あらかじめ館長の許可を受け、係員の指示に従わなければならない。

- 2 臨時設備又は物品の搬出に遅滞があった場合は、館長が適宜に措置を講ずることができるものとする。この場合において、搬出費用は、使用者の負担とする。

## (使用の取消又は中止)

第10条 館長は、次の各号のいずれかに該当する場合は、その使用許可を取消し又は使用を中止させることができる。

- (1) 建物又は備品等を破壊するおそれがあるとき
- (2) 秩序又は風紀を乱すおそれがあるとき
- (3) 虚偽の申込みが判明したとき
- (4) 事務室の指示に従わなかったとき
- (5) その他管理上支障があると認めるとき

(損害賠償)

第11条 使用者は、建物、付帯設備、備品等を汚損、破壊又は滅失した場合、事務室に届け出て、その損害を賠償しなければならない。

(所管部署)

第12条 この内規に関する事務は、事務室の所管とする。

(内規の改廃)

第13条 この内規の改廃は、博物館管理運営委員会の議を経て、館長が行う。

附 則

この内規は、2006(平成18)年6月14日から施行する。

附 則

この内規は、2010(平成22)年5月12日から施行する。

附 則

この内規は、2018(平成30)年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、2019(平成31)年4月1日から施行する。

# 西南学院大学博物館(ドージャー記念館)パイプオルガンの管理及び使用に関する内規

2007(平成19)年5月24日  
制定

## (趣旨)

第1条 この内規は、西南学院大学博物館(ドージャー記念館)設置のパイプオルガンの管理及び使用を円滑に行うため、必要な事項を定めるものとする。

## (管理)

第2条 パイプオルガンの管理は、学長の委嘱により博物館長及び大学事務長が協議の上、これにあたる。

## (委員会の構成)

第3条 第1条の事項を協議するためパイプオルガン管理運用委員会(以下「委員会」という。)を置く。

2 委員会は、次に掲げる委員をもって構成する。

- (1) 大学事務長
  - (2) 学院宗教主事(音楽担当)(以下「宗教主事」という。)
  - (3) 博物館教員
  - (4) 学長が委嘱する教員(神学部教員を含む)若干名
  - (5) 総務課長
  - (6) 施設課長
  - (7) キリスト教活動支援課長
  - (8) 博物館事務室責任者(以下「責任者」という。)
- 3 前項第4号に規定する委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

## (委員長)

第4条 委員会には、委員長を置き、大学事務長がこれにあたる。

2 委員長に事故あるときは、前条第2項の委員の互選によりこれを定める。

## (招集及び議事)

第5条 委員長は、必要に応じ委員会を招集し、その議長となる。

2 委員会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開き、議決することができない。

3 委員会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

## (使用対象者)

第6条 パイプオルガンの使用は、博物館長が講堂の使用を認めた行事に際し、次に掲げる者に限り認めるものとする。

- (1) 宗教主事
- (2) 宗教主事が推薦する者
- (3) パイプオルガンを使用する授業科目担当者及び受講生
- (4) 学長が特に推薦する者

## (使用時間)

第7条 パイプオルガンの使用時間は、午前10時から午後6時までとする。

2 前項の規定にかかわらず、博物館長が必要と認めたときは、当該時間を変更することができる。

## (使用手続等)

第8条 パイプオルガンの使用を希望する者は、西南学院大学博物館(ドージャー記念館)講堂使用内規(2006(平成18)年6月14日)第6条第1項の使用願により許可を得るものとする。

2 パイプオルガン使用の際は、博物館事務室係員の指示に従うものとする。

## (使用者の管理義務)

第9条 パイプオルガンの使用者は、次に掲げる事項について特に注意しなければならない。

- (1) パイプオルガン使用中の鍵の管理
  - (2) 使用後のパイプオルガンの施錠
  - (3) 鍵の返却
- 2 故障又は調整の必要が生じた時は、直ちに宗教主事及び責任者に通知すること。

## (定めのない事項)

第10条 パイプオルガンの管理及び使用について、この内規に定めのない事項については、必要に応じ学長と大学事務長が協議の上、決定する。

## (所管部署)

第11条 この内規に関する事務は、社会連携課博物館事務室の所管とする。

## (内規の改廃)

第12条 この内規の改廃は、委員会の議を経て学長が行う。

## 附 則

この内規は、2007(平成19)年5月24日から施行し、2007(平成19)年5月15日から適用する。

附 則  
この内規は、2009(平成21)年7月30日から施行する。

附 則  
この内規は、2014(平成26)年4月1日から施行する。

附 則  
この内規は、2018(平成30)年4月1日から施行する。

附 則  
この内規は、2019(平成31)年4月1日から施行する。

# 西南学院大学博物館資料収集検討委員会内規

2016(平成28)年3月9日  
制定

(趣旨)

第1条 この内規は、西南学院大学博物館協議会規則（2005(平成17)年10月5日）第2条第2項に基づき、博物館資料の収集に必要な事項を定めるものとする。

(委員会の設置)

第2条 博物館において所蔵する資料の収集を適正かつ円滑に行うため、博物館資料収集検討委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(委員会の構成)

第3条 委員会は、次に掲げる委員をもって構成する。

- (1) 博物館長（以下「館長」という。）
- (2) 館長が委嘱する専任教員若干名
- (3) 博物館教員
- (4) 大学事務長

2 次条第1項第1号の資料を審議する場合は、前項の委員の他に当該資料に関する専門家（以下「専門家」という。）を委員として加えなければならない。

3 専門家は、やむを得ず委員会に出席できないときは、必ず当該資料収集に関する意見書を館長に提出しなければならない。

4 役職者以外の委員（専門家を除く。）の任期は、1年とする。ただし、再任を妨げない。なお、役職上の委員の任期は、その職にある期間とする。

(委員会の開催要件)

第4条 委員会は、次に掲げる場合に開催しなければならない。

- (1) 1資料の価格（税込み）が100万円を超える場合
- (2) 当該年度の資料購入予算限度額を超える場合
- (3) その他、館長が諮問する場合

(委員長)

第5条 委員会に、委員長を置く。

2 委員長は、館長がこれに当たる。館長が欠けたとき又は館長に事故あるときは、委員の互選によって、これを定める。

(招集等)

第6条 委員会は、委員長が招集し、その議長となる。

2 委員会は、必要に応じて委員以外の者（学外者を含む。）の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(委員会の成立及び議事)

第7条 委員会は、構成員の過半数の出席がなければ成立しない。

2 委員会の議事は、出席者の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(所管部署)

第8条 この内規に関する事務は、社会連携課博物館事務室の所管とする。

(内規の改廃)

第9条 この内規の改廃は、西南学院大学博物館協議会の議を経て、部長会議が処理する。この場合において、その実施には、学長の承認を得ることとする。

附 則

この内規は、2016(平成28)年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、2018(平成30)年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、2019(平成31)年4月1日から施行する。



## 西南学院大学博物館学外研究員に関する内規

2019(令和元)年12月17日  
制定

### (趣旨)

第1条 この内規は、西南学院大学博物館規程（2005（平成17）年10月5日）第7条第2項に基づき、西南学院大学博物館（以下「博物館」という。）の学外研究員に関し、必要な事項を定めるものとする。

### (定義)

第2条 学外研究員とは、博物館の事業を推進し、諸活動に寄与することを目的とし、博物館の関係者と協力して資料の収集及び研究に従事する学外者をいう。

2 前項の学外者とは、原則として次に掲げる者をいう。

- (1) 国立、公立及び私立の教育研究機関に所属する、又は所属した教育職員及び研究者
- (2) 博物館資料の調査、収集、整理、保存、公開展示等について専門知識を有する者

### (申込み)

第3条 学外研究員を希望する者は、所定の様式による学外研究員受入申請書を博物館長（以下「館長」という。）に提出しなければならない。

### (受入れ)

第4条 学外研究員の受入れに関しては、館長の承認を得て、博物館管理運営委員会（以下「委員会」という。）に報告するものとする。

### (受入れ期間)

第5条 学外研究員の受入れ期間は、原則として2年とする。ただし、館長が必要と認めたときは、これを更新することができる。

2 館長が、博物館における業務遂行に支障があると判断したときは、その職務を解くことができる。

### (待遇)

第6条 学外研究員と博物館の間には、雇用関係は生じないものとする。

### (施設等の使用)

第7条 学外研究員は、本学の教育・研究に支障のない範囲において、大学図書館及び博物館の施設を利用でき、博物館の所蔵資料を調査研究することができる。ただし、研究室は、原則として提供しない。

### (刊行物への執筆)

第8条 学外研究員は、博物館が発行する刊行物に執筆し、その刊行物を受け取ることができる。

### (所管部署)

第9条 この内規に関する事務は、社会連携課博物館事務室の所管とする。

### (内規の改廃)

第10条 この内規の改廃は、委員会の議を経て、館長が行う。

### 附 則

この内規は、2020(令和2)年4月1日から施行する。

# 西南学院大学博物館組織

## 大学博物館

館長 伊藤 慎二（兼任 本学国際文化学部教授）  
 専門：考古学（アジア・太平洋）  
 琉球列島・ロシア極東・オセアニアの先史考古学などをおもに研究。

博物館教員 下園 知弥（専任 助教・学芸員）  
 専門：キリスト教思想・キリスト教美術  
 キリスト教の諸教会における思想・美術を研究。

## 博物館事務室

### 嘱託職員

事務職員 原 耕作

### 臨時職員

学芸研究員 山尾 彩香（教育普及担当学芸員）  
 鬼束 芽依（調査研究担当学芸員）  
 学芸調査員 勝野みずほ（本学国際文化研究科博士前期課程）  
 山本 恵梨（本学国際文化研究科博士前期課程）  
 相江なぎさ（本学国際文化研究科博士前期課程）  
 栗田 りな（本学神学部神学科生）

## 博物館管理運営委員会（西南学院大学博物館管理運営規則第14条～15条）

委員長 伊藤 慎二（博物館長）  
 委員 尹 芝恵（博物館学芸員課程主任 本学国際文化学部准教授）  
 濱野 道雄（神学部長 本学神学部教授）  
 三苦 正淳（大学事務長）  
 下園 知弥（博物館教員）  
 吉田 直史（社会連携課長 博物館事務室責任者）

## 博物館協議会（西南学院大学博物館協議会規則第3条）

会長 有馬 学（福岡市博物館館長）  
 副会長 島谷 弘幸（九州国立博物館館長）  
 委員 尹 芝恵（博物館学芸員課程主任 本学国際文化学部准教授）  
 山根 明弘（本学人間科学部社会福祉学科教授）  
 三苦 正淳（本学大学事務長）  
 佐伯 直彦（私学協会福岡地区支部長）

（2022年8月現在）

西南学院大学博物館年報 第 14 号  
2021

発行日 2022年8月1日

編集発行 西南学院大学博物館  
〒814-8511 福岡市早良区西新3-13-1  
TEL(092)823-4785 FAX(092)823-4786

印刷 株式会社インテックス福岡  
〒812-0892 福岡市博多区東那珂1-15-1  
TEL(092)477-7002 FAX(092)477-7003